

第8次森町総合計画策定のための 地域ごとの懇談会の意見の概要について

< 進め方 >

町長から町政の現況の報告を含めて、あいさつ。

スクリーン（パワーポイント）及び資料を使って、現総合計画の概要や第8次総合計画の策定状況について簡単に説明し、町民アンケート調査の結果の概要について、森町全体と地区・年代別の傾向を比較しながら、説明。

そのあと、出来るだけ多数の意見を聞き取るために、参加者の意見を聞きおく形で会を進行（意見の内容によっては意見交換を実施）。

総合計画策定に係る「地域ごとの懇談会」の開催日程

地区	日 時	場 所	
三倉	10月26日(水) 19:00～	三倉総合センター	p77
天方	11月 7日(月) 19:00～ (大鳥居 問詰)	大鳥居公民館	p81
	11月25日(金) 19:00～ (嵯塚 鍛冶島 亀久保)	亀久保公民館	p84
	11月28日(月) 19:00～ (西俣 黒石 葛布)	黒石公民館	p88
森	11月14日(月) 19:00～ (向天方上 向天方下)	向天方上公民館	p92
	11月15日(火) 19:00～ (城下上 城下下)	城下公民館	p96
	11月16日(水) 19:00～ (赤松 川向 本丁 開運町 川久保 大上 薄場 橘)	大上公民館	p99
	11月20日(日) 19:00～ (栄町中 栄町上 南町 大門 西幸町 促進住宅森)	町民生活センター 集会室	p103
	11月26日(土) 19:00～ (明治町 新町 仲横町 本町 川原町 下宿)	町民生活センター 集会室	p106
園田	11月10日(木) 19:00～ (草ヶ谷 谷中 円田)	園田防災センター	p109
	11月17日(木) 19:00～ (中川上 中川下 牛飼)	園田防災センター	p110
飯田	11月21日(月) 19:00～ (市場 下飯田 中飯田 上飯田 東組 西組 城北 若宮)	飯田防災センター	p112
	11月22日(火) 19:00～ (梶ヶ谷 鴨谷 福田地 戸綿 北戸綿 南戸綿 むつみ台)	飯田防災センター	p115
一宮	12月 8日(木) 19:00～	一宮総合センター	p118

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 三倉地区 >

日 時 平成17年10月26日（水）午後7時～9時
場 所 三倉総合センター
参加者 約50人

今までない経済界・社会情勢の流動化、予想以上の少子・高齢化社会への進展、予断しがたい国際問題の動き等々、難しい時代背景であるが、構想・計画・実効性を見据えながら、総合計画を策定していただきたい。

人口、産業動態、土地利用については、もう少し工場誘致に力を入れた方が良いのではないか。

自然的適切な森林造成と管理、公園緑地の整備、都市的宅地の造成、機械化農業のできる農地農道造成、工場誘致と計画的な工場用地の確保、河川の環境保全も大事ではないか。

現在、三倉地区の地域労働人口の大部分が通勤者であり、道路の整備については関心が高い。第2東名や県道藤枝天竜線、袋井春野線、水窪森線、大河内森線、町道、農道等の道路整備が良くなると地域が明るく感じられるのではないか。

バス路線の運行確保と協力体制も重要な問題とを感じる。

情報、通信ネットワークの面では、防災無線をもっと充実してはどうか。

また、三倉地区には携帯電話は使用できない所があるので、全域携帯電話が使用できるようにしてほしい。

防災対策については、ドクターヘリの離着陸地を多く確保、地割れ・地滑り・大岩石等危険個所の表示が重要と考える。

リサイクル社会の構築等ゴミ処理対策について、しっかりやってほしい。

役場の会合の時期や曜日の選定、公文書等事務処理の合理化等計画的な行政運営、年金の完全支給や森町病院の健全運営、訪問介護の充実、愛光園形式の老人ホームの建設、生涯学習の継続なども考えてほしい。

三倉地域は林業に携わる人が多いこともあり、林業の活性化について、お話ししたい。昭和50年くらいから木材の価格も低下し、外材のシェアも、約81%と増加しており、地域としては元気のない状態が続いている。

山の手入れの状況としては、間伐事業については、国や県、町の助成を受け実施をしているところであり、また、三倉地区全域が保安林になっていることから、山の手入れ自体については進んでいる。

しかしながら、戦後植林されて成熟し伐採してもよい山が60%くらいあるにもかかわらず、お金にならないためそのままになっている状態である。老齢木になれば、材質としては良いという話もある一方で、二酸化炭素を吸って、酸素を吐くといった空気の浄化などの、木の公益的機能は低下していく。

こうした森林全体としての機能の維持・増進をしていくには、適正な管理をしていかななくてはならない。地域としては、山林を何とかしたいと考えているので、御理解、御支援をお願い

したい。

特に、林道の開設、管理補修等やっていただいているが、都市から緑を求めて来る人達も最近は多くなっている。そのような中、森林組合でも森林再生プロジェクトを立ち上げ、再生可能な山の経営について取り組んでいこうとしているところである。

総合計画については、中山間地域の林業について、しっかり位置づけをしていただきたい。

また、三倉地区は子供も少なくなっている。寂しい地域とならないように、地元の住民も努力をしていくが、町としても御支援を願いたい。

三倉茶農協では、13年前に大きな補助を受け、再編成の中で整備を進めてきた。13年経って、現在、機械の更新等を進めている。なんとか若い後継者が育ってきている中、茶工場自体については、なんとかやっていける。

しかしながら、南部地区においては、乗用の適採地が増えてきているが、三倉地区ではなかなか難しい。そうした中で、肥料をやるといった一般的な管理は何とかなるが、基盤整備の遅れによる、高齢化にとって適採作業という重労働が何とかならないかということである。

乗用機械の小型化等も進んでいるが、お金のかかることでもあり、個人として自助努力もしていかななくてはいけないと思うが、行政としても森の茶、特に山間地の茶園に対して御支援・御指導をいただきたい。

最近、イノシシによる、農作物への被害が問題になっている。暗くなるとどこにでも出てくる。猟友会を通じて有害鳥獣の駆除をやっているが、それでも対応できない状況である。茶園にも、防護ネットや電気の柵等を設置しているが、お金がかかることなので、町としても助成の方を考えていただきたい。旧春野町では、助成事業を行っているのを聞いたことがある。

また、農地の荒廃も進んでいる。高齢化社会における茶業の基盤整備の遅れを、地域としても努力はしていくので、行政からのてこ入れをよろしく願いたい。

森町の活性化について、森町の武器・弱点は何かをあぶり出してはどうか。森町の知名度は高いと思う。マスコミでも良く出ている気がする。森町の強みをもっと表に出して活かしてはどうか。逆に、弱点を見直して、改善していく。あれもこれもでは、難しいので、的を絞っていくのが良いのではないか。

北の地区の人は、南の地区のことを知らない。また、逆もある。お互いがお互いの地域のことを知る機会がもっとあるといいと思う。

三倉地区においても、過疎は大きな問題である。1つの例ではあるが、三倉地区には「三倉の祭りを考える会」というものがあり、三倉の祭りも年々寂れてきているが、なんとかしようと20代から30代の若者が自ら考えて、会を設けてやっており、若い人たちは、地域に無関心なわけではない。三倉地区だけでなく、若い人の声をもっと広く集め、広めたり支援していくことが良いのではないか。

若い人たちがなんとかしようと思っている気持ちを大事にしていきたいと思う。逆に高齢者には、経験や知識がある。ノウハウを若い人たちに与えるような連携をとってやっていくことが大事ではないか。そういった活動を通じて若者が得たものが、今後大きな力となっていくと思う。

町長にお伺いしたい。森町は合併をせず、単独の道を選んだ。合併しなくてよかったとか、合併した方がよかったという点が、今までのうちに出てきていればお聞きしたい。また、三倉地区の道路、特に周智トンネルの近くは、狭く、木が生い茂っていて、暗い感じがする。春野の方は、いい道ができていと思う。県道なので県の方へ働きかけをして欲しい。

合併についての質問は、非常に難しい質問です。すでに、合併はせずに、単独で行くということに決まったのであるから、そういう中で全力で取り組んでいくということしか言えない。だから、今は、合併したほうが良かったとか、しなくて良かったとか、そういうことは考えていない。

道路の改良については、春野町からも、森町側を良くしてくれという要望は出ているし、町としても県の方に要望を出している。しかしながら、県の道路に対する予算も減ってきている。一方、予算はついているものの、用地等の問題もあり、事業が進んでいない道路もある。地域としては、いろんなことをトータルで考えていただければと思う。地元としても事業に対して御理解と御協力をお願いしたい。

消防についてお話ししたい。昔は、消防団員が森林組合や農協に勤めていたりして、6分団も普通に活動できていたが、最近は、団員が町外に勤めているなど、火災時の出勤さえ難しくなっている。1分団と6分団の合併により、消防団の組織運営としては成り立っていくだろうが、地元の安全・安心という面では、不安がある。そうなると、袋井消防署森分署に依存しなければならないが、タンク車1台では、不安である。もう1台いれてはどうだろうか。

また、自主防組織についても見直さなければいけないと思う。各町内会にそれぞれ組織はあるが、三倉地区全体としての、組織の編成を考えてはどうか。建物については、災害に強くなっているが、人間も災害に強くならなくてはならない。情報伝達も重要であり、三倉地区には、消防無線や携帯電話が使えない所があることから、アンテナを立てるなどの対策をお願いしたい。

町長の公約の中で、「住みたいと思う町にしたい」と述べていたと思う。今、住んでいる人間は、年を取るとどこかに引っ越すということはないけど、若い人たちは、他の町にでてしまう。住みよい町になれば、人口も増えて、財政も豊かになる。他の町に住んでいる人たちが住みたいと思うような計画にして欲しい。

山や川があるっていいねとよく言われるし、アンケート結果でも、良い所は、自然がたくさんあってよいという結果が出ている。では、そこに住みますかと聞くと良い所だけど住みたくはないという答えが多い気がする。では、なぜなのか。環境が良くてなぜ住まないか、そういったことを考えて、計画をつくって欲しい。

少子高齢化が進むなか、独身者が多い。例えば、パーティーのようなものをひらいて、結婚の相手が探せるような形をとって欲しい。高齢者対策については、現在、みやま荘があるが、もう少し改良して老人ホームのような形にならないか。

三倉小学校について、お話ししたい。最近、三倉小学校と天方小学校の合併、泉陽中学校と森中学校の合併の話を目にする。三倉小学校も、15年前は、100人近く生徒がいたが、今では30人近くまで減っている。でも、子供達は生き生きとしており、それは、今も昔も変わらない。1学年1学級であるが、基礎学力の問題は、生徒の努力であり、親の努力であり、先生の努力であると思う。小さい学校と大きい学校の差は、先生の数が違うということではないか。三倉小学校は、先生も少なく、雑事を含め先生一人ひとりの負担が大きい。先生は、忙しくて、時間が無いように感じる。教育はお金だけでは、計れないと思う。教育行政の中で、予算があるとすれば、先生を増やすような対策を、県や国へも働きかけをお願いしたい。大河内小学校や上野平小学校など合併して、三倉小学校ができた。これでまた、三倉小学校が合併して、無くなってしまうと、三倉地区から灯が消えてしまうような感じがする。

三倉小学校の子供達は、みんな一輪車に乗れ、子供達もそれを誇りに思っている。予算の関係で簡単に三倉小学校を無くすようなことだけはしないで欲しい。

バスについて、お話ししたい。現在は、患者輸送バスが走っているので、病院に行く時は、それを利用している。急に悪くなったときは、路線バスを使うと、帰りは2時間待ちというようなこともある。病院でボランティア活動をやっているが、高齢者からそのような声を聞く。病院の帰りに買い物もしたいけど、また、2時間待ちになってしまう。自宅からも、バス停は遠いということもある。100円でも200円でも良いので、小型のバスを走らせてはどうか。病院に行くのにも、家の人がいないと、近所の人に頼まなければ行けない。

合併をしない選択をした森町としては、単独で頑張っているね。といわれるような町政をお願いしたい。ここ3年が大事だと思うので、10年ではなく3年先を考えてやってほしい。単独の道を進むには、町民2万人の人の意識を変えていく必要がある。人づくりに投資をしながらまちづくりを進めていって欲しい。

少子化問題について対策をお願いしたい。森町は良い所であると思う。そして、三倉地区も自然が多くあってよい。三倉地区に宅地を造成して、人口増加計画をしたらどうか。人口が増えれば、消費も増え、税収も増える。そういったことを計画に位置づけをしていってはどうか。

福祉の問題について。三倉地区には、60歳以上の夫婦が多い。今はなんとかなっても、10年後には、70歳代以上になっている。人と人との付き合いという面での住みやすさはあるかもしれないが、日常生活での不便さがある。

今後の不安として、車に乗れなくなったときは、どこにどうやって買い物に行けばいいのか。生活の不便さを改善するような対策を計画に載せていただきたいと思う。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

<天方地区（大鳥居・問詰 町内会）>

日 時 平成17年11月7日（月）午後7時～9時
場 所 大鳥居公民館
参加者 約40～45人

若い人が住み続けたいくなるような森町にしていくことが大切。若い人の意向というかそういったことを捉えていくことが肝要ではないか。年配の人は、住み続けたいというよりは、住んでいくしかないといった感覚であると思う。私は森町の外から来て40年くらい経つが、森町で働く場所があれば、若い人も住み続けたいと思う人も増えるのではないか。若い人の定住施策を企業誘致なり、いろいろあると思うが考えていただきたい。

自主運行バスについて、乗る人が少ないということもあるが、本数が少ない。母親が森町病院に行く時に、午後では行くバスがない。私は自分の車で病院まで送って行ったが、送迎できない人は困ると思う。利用者の立場に立ったバスの運行に見直していただきたい。また、遠州森町駅からアクティ森まで行くバスもないので、そういった外から来る人や、地元の人も含めた、有効なバスの運行をお願いしたい。

天方生活改善センターを30年近く利用してきた。しかし、大鳥居公民館が新築され、利用の頻度も少なくなった。老朽化したセンターの存続・改築を含め、今後、どのように利用していくのか。閉鎖された新進商会森町工場跡地の有効利用について、現在、無人なので、火災等のセキュリティの危険性もあり、今後第二東名のICもできることから、企業を誘致してはどうか。若しくは、町で土地を取得して、コミュニティセンターを建設してはどうか。あるいは、発生が危惧されている東海地震に備えて、防災センターを建設してはどうか。若者の働く場所の確保としては、できるだけ企業を誘致していただきたい。また、国土調査・地積調査について、天方地域も実施していくのかどうか。できる限り実施して頂きたいと思う。

先日、テレビで東北地方の矢祭町について放送しているのを見た。人口7,000人弱で、合併をせず、単独でやっている。町長をはじめ、みんなが町のために活躍している。森町においては、役場の人は、町のためにどこまで考えてやっているのか、お聞きしたいところである。

アンケート結果を見ると、若者があまり森町に住みたくないという傾向があるのではないか。若者のために、働く場所を確保することは重要なことだと思う。また、農地を多方面に利用できるよう、農業振興地域（農用地）の規制の見直しをして欲しい。小さな土地であっても、規制がかかっており、利用がしづらい。

今後、森町の財政が厳しいといわれる中で、市町の合併は避けては通れない。合併を見込んだ総合計画を策定していただきたい。

天方地区では、会社を設立して、アクティ森で農産物を販売したり、宿泊施設等を経営したりしている。アクティ森は森町の顔である。町の外から多くのお客さんが来る。しかし、管理

・運営をしているのは、ほとんど高齢者である。高齢者の健康を維持する環境づくりをお願いしたい。教育方面でも、総合学習において、アクティ森を利用してはどうか。太田川ダムと関連性を持たせた憩いの場としても活用をお願いしたい。

先日、新聞の投稿欄で、「小学校の給食を食べる前にみんなで「いただきます」を言うのをやめてほしい。」という主婦の投稿を読んだ。理由は、給食費を払っているのに「いただきます」を言う必要はないという。戦争を経験してきた我々にとっては、とんでもない話である。こういうことを聞くと、若者と高齢者の感覚の差ができてくるのではないかと思ってしまう。森町の教育では、そんなことがないようにしていただきたい。

アンケート結果から、若者が森町に定住しにくいことが見てとれるのではないか。幼稚園は各地区にあるが、共働きの夫婦が多い中、森町には保育園が二つしかない。親は、6時くらいまで働いている。それまで預かる保育施設について、もう少し充実していただきたい。今ある保育園も場所的に交通の便が悪い。幼稚園をうまく利用するなど、町からのこ入れをお願いしたい。

サッカー少年団の事務局をやっている。練習は天方小学校のグラウンドを使用しているが、試合はほとんど町外のグラウンドでやっている。森FCも発足して20年になる。遠方のチームと交流試合をすることもある。そのときは、町営グラウンドや天方小学校のグラウンドを利用して試合をしているが、天方小学校のトイレが老朽化しており、改修を以前から要望しているが、何の返事もない状況である。太田川の親水公園には、ゲートボールをする人の為に、トイレが2つもある。現在のトイレは、遠くから来る人に恥ずかしいこともあり、早急に直して欲しい。また、交流試合には、愛知、石川、奈良等から500人くらい遠征してくる。宿泊にさざんか荘を使えたら良いと思う。青少年の活動や子供達の不便を考えていただきたい。

最近の子供達は、キャッチボールもできない。昔の山の子は足腰が強かった。今はバス通学が多くなり、子供達の足腰が弱くなっているように思う。放課後等、運動しようにも、安全面からグラウンドも使用できないという問題もある。地域の高齢者に不審者が入ってこないよう、見張り番をやってもらうなど、もっと学校のグラウンドを有効利用して、足腰の強い子供達を育てていってはどうか。

パサールカードについては、乗らないけど、地域のバス確保のために、買っている人がいる。使用しないと駄目だという話も聞く。では、そのお金はどこにってしまうのかと思う。協力はしているのに、反映されず、住民の善意が無駄になってしまう気がする。地域としては、バスがなくなると困るので協力はしていきたい。カードを販売する課とお金を管理する課が違うのかどうか分からないが、どこかの市では、すぐやる課というのががあると聞くが、他のことでも、お役所仕事で、それは建設課、それは農林課というようなことが往々にしてある。

春野町では、小型のバスがよく走っている。森町でもバスの小型化を検討してはどうか。一番たくさん乗るときでも、学生が通学のために乗るときだけである。町と静鉄と話をしてみてもいいと思う。

森町といえば、昔は「お茶と材木」であったが、最近は、他の地域におされ、それほどでもない。では、森町の特産というかイメージと言えば何かというと、私は「水と緑」だと思う。「水と緑」を活かしたまちづくりをしていったらどうか。

総合計画の策定にあたって、総合計画審議会でも、市町村合併を考えたまちづくりをお願いしたい。

幼稚園の土地の一部が、八幡神社の土地になっている。町で買っていただきたいと思う。犯罪の低年齢化が進むなど、教育が大事な時だと思う。教育にもっと予算をつけていただき、充実した教育を進めて欲しい。教育については、人の痛さ、自分の痛さが分かる教育者を育てなくてはいけないと言う話を聞いたことがある。良い教育者をもっと育てていくことが大事だと思う。

天方地区でも、イノシシ、シカ等の被害が多くなってきている。役場でも猟友会と協力して捕獲するなどの対策をいただいている。我々も、電気ショックなどの対策をしているが、電気ショックの経費も、2万円くらいかかる。多い所は、2台、3台設置している人もいるので、補助等ができないだろうか。

町にお礼を申し上げたい。吉川地域にアクティ森を設置していただいたことに大変感謝している。アクティ森があるとないとは大きな違いがある。ないことを想定すると、あの場所は荒地になり、ますます人は来なくなる。おかげさまで、地域の人々が協力して頑張っている。もっと知恵をだして頑張っていきたい。また、行政からも今後とも、ご指導を願いたい。

アンケート結果の中に、今後の町政運営について、職員の能力の向上という結果が出ている。どのように向上させていくのか、町長をはじめ、意気込みを聞かせていただければと思う。そうすれば住民もやる気が出てくるのではないか。

職員の能力の向上も大切だが、お金をかけずに、民間からの人材の登用をしてはどうか。能力のある人ならば、お金ではなく、協力していただけるのではないかと思う。

町長の施政方針を読んで思うが、また、福島県の矢祭町の話もあったが、町長の意識を含め、町民のためのまちづくりをお願いしたい。矢祭町は人口が少ないからできたところもあるかもしれないが、職員が役場の出張所の役割を果たすなど、職員の一心な姿を見た。職員の意識の改革を進めていただきたい。

アクティ森の建設について、お礼の言葉がありましたが、そのとおりだと思う。これから、太田川ダムもできれば、ますます森町の顔として活躍すると思う。最近、指定管理者制度の導入という話を聞く。例えば、天方生活改善センターを地域で管理していくということだと思うが、アクティ森の場合は、指定管理者制度の導入となると、地域でアクティ森を管理・運営していくということになると思う。そうすると、地域としては大変なことになると思うので、今まで通りに支援していただき、ご協力をお願いしたい。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

<天方地区（鍛冶島・亀久保・嵯塚町内会）>

日 時 平成17年11月25日（金）午後7時～8時45分
場 所 亀久保公民館
参加者 約40～45人

協働まちづくり委員会に参加している。天方地区は、山や川といった自然が豊かである。また、ダムも出来る。活用の方法があるのではないかと。もう一点、川の浄化について、町中は下水道整備が進んでいる。三倉・天方地区については、合併処理浄化槽の整備の推進をしたほうがよいのではないかと。水の浄化は、重要な問題である。子どもの頃に比べると、川の水が汚い。

少子高齢化の問題は、国全体の問題であるが、天方地区、鍛冶島でも、子どもや若い人が少ない。お祭りの屋台を引くのにも大変苦労している。どういう対応をしていくのがよいか。しっかりと検討していくことが肝要。

亀久保の高齢化について、5年くらい経つと、一人暮らしの高齢者が多くなる。子どもがいない。若い人も出てしまっている。東亀久保は特に大変。亀久保は、ダムも造られ、キャンプ場もあり、遊びに来る人も多い。道もよいし、将来性のある地域だと思う。住みやすいと思うが、次世代の人は、なかなか住んではくれない。昔に比べれば、山の中ではないと思うが。

友田家のことについては、個人の問題ではなく、国指定の文化財であるのだから、もっと大切にしたい。家主は勤めに出ているため、説明を聞きたいという声もよく聞く。考えていかななくてはならない。友田家の隠居の家も、家主が山梨に住んでおり、現在空き家になっている。こちらも県の指定を受けている。住んでいないため、傷みも激しい。地域でも考えなくてはならないが、町としても保存や活用について考えてほしい。

嵯塚は、戸数も少ない。ほとんど高齢者である。嵯塚に行くまでの道が悪く、そういった面では、農林課や建設課の人にはお世話になっている。今後ともよろしくお願ひしたい。

亀久保地区の道の草を刈るのが大変である。いい方法があれば教えてほしい。特に長郷から降りてくる道。年寄り作業が大変になってきている。町から生コンを支給してもらって、地元で舗装している。3人くらいでやっている状況。

亀久保の現状も大変だが、10年後がとて不安である。特に生活面の不安が多い。住んでいて悪くはないが、行政として効率の悪いところへは投資をしないという流れがあるので、そういうところが不安である。

町内会単位の行事で、協力していかなくてはならないということは分かっているが、少ない戸数で役員をだすのが大変。ますます若い人を引き留めておくことが出来ない。

第8次の計画が終わる頃、亀久保がどうなっているか不安である。高齢者ばかりである。現在、60歳から70歳の人が多く、かろうじてお茶をやっているが、10年後は無理ではないか。一人暮らしの人も多い。後継者がいない、いても外へ出ている。暮らしていてもそういうところが不安である。行政でも何ともならないとは思うが。

バスの問題について、今もバスが走っているが、誰も乗っていない時がある。必要な時に電話してまわってきてくれるバスのようなものを聞いたことがある。今は、車を運転できるが、出来なくなったときにバスがないと困る。そういったバスがあれば、病院にも買い物にも一人で行くことが出来ると思う。

後ろ向きの話が多いが、前向き話をすると、自然を活かして、例えば、水源の保全の面から考えると、植林した木が、今後、建築材として活用できるか分からないので、広葉樹の植林の推進をし、椎茸や炭などを生産し、それを観光とかねてやっていってはどうか。こういうことを計画に入れてPRしていく。そうすれば、UターンもIターンも増えてくるのではないかと思う。

話題の森林づくり税について、ぜひ推進して頂き、地域でも恩恵を受けるようになれば、杉や檜だけではなく景観を考えた自然の活用が出来るようになると思う。

お茶の話もあったが、高齢者が多くなり、こんなに大変になるとは思っていなかった。手遅れの感じもするが、生き延びるとしたら、茶商と連携をとってやっていくのがよいのではないか。高齢化は避けては通れない。人数が減っても、効率よく個人の面積を増やせるようにしていくのがよいのではないか。もちろん個人でも努力はしなくては行けないが。

そば屋を営んでいる。不特定多数の人がお客としてくる。亀久保だけではないが、空き家が多いと思う。住んでいる人は、変な人が入ってきては困るというのも分かるので、貸すのに消極的になるのも分かるが、活用してみてもどうか。奥三河に人口約210人の小さな村である富山村という村があった。空き家に対して、町が窓口となり、インターネットなどで住みたい人に紹介していた。店に来るお客さんも空き家がないかという話をしていく。空き家を利用して、みんなに入ってきてもらう。空き家を利用しないのはもったいないと感じている。

アクティ森を中心とした観光を行っているが、ウォーキングや自転車のコースをつくってやっている。以前、コース内の橋も落ちたが、町内会で直した。町でシルバーに頼んで、草刈もしてもらった。滝も3つほどある。ベビーカーを押して歩いて滝を見に行く人もいた。観光的な面もあるので、危険箇所を含め、道の整備をお願いしたい。自然が多く、生物も多い。地元でも草刈をしている。自然との共生を含め、ダム周辺の整備、ダムへ行くまでの観光整備をしていってはどうかと思う。

この地域は、今後、グリーンツーリズム等いろいろと夢が広がっていく地域であると思う。

ダム建設により、片吹地区のお宮や大丸様を移設した。その際、町内会で話をして大変だけでも、地元で管理していくようにした。老人クラブの人など、多くの人が見に来る。観光的にもいろいろ出てくると思う。水洗トイレなども出来てきて、もっと木を植えたりして、観光的にダムを活かしていく。地元でもやっていかななくてはいけないと思う。

青少年の育成については、伝倉沢の埋め立て地に子どもが合宿できるような環境を作ってはどうか。雇用もできる。ダムに関しては、積極的に協力しているので、行政としてもお願いしたい。

敬老会の件については、約20年くらい前、敬老会に役の関係で行った。その時は、ありがたいのか、ありがたくないのか分からなかったが、今思うとあまりよくないと思う。高齢者の数も増えてきており、あれだけの人数を集めるのも大変だし、町の財政も大変な中、経費節減ということで見直していただきたい。町長の祝辞の葉書一枚でもいいのではないかと考えたこともある。

敬老会のあり方については、各地域で意見をもらっており、担当課で検討している最中。

夏、キャンプ場に人が来るが、それ以外にも、川などでキャンプをする人がいる。その人達が、生理的現象で、川などで用をたして行く。草を刈った後とかにもしてある。ウォーキング等で来た人など、多数の人に自宅のトイレを貸している。トイレを設置してもらいたい。また、設置するだけでなく、管理もして頂きたい。吉川沿いに2, 3個設置して頂けるとありがたい。

ものすごく山が荒廃している。国の方針で、昭和30年代、杉や檜を植林をしたが、今はお金がかかるせいで、放置されている。森林づくり税ということが言われているが、間伐しないと良い山にならない。手を入れないとますます荒れてしまう。やりたくても、林業経営者はなかなか投資することができない。全国的にこのような状況ではないか。間伐しないと水源としても荒れてしまう。林業に対する施策を考えて頂きたい。

森林の整備の話は、なかなか難しい問題であると思う。木を切れば赤字になって、手をつけられない。森林については水の問題等、都会の人にも関係ある。一自治体ではどうにもならない。しかし、今のうちになんとかしないと山が駄目になってしまう心配がある。

今後ともバスの存続をお願いしたいと思う。

山の話についても、厳しくてもやっていかななくてはいけない。後継者も育てなくてはならない。

過疎化が進んでいる。アンケート結果にもあるように、森町のよくないところに「よい働き口が少ない。」ということがある。それが過疎化が進んでいる原因の1つとも考えられる。企業誘致に力を入れれば、過疎化にも歯止めがかかるのではないかと思う。

月初めの同報無線による町長の挨拶がよいと思う。毎週1回くらいでもやって欲しい。町長が言えば、町はこういうことやっているということが町民によく分かる。

町民は、町長の声を待っている。同報無線はいいと思う。生の声が聞こえる。書物より声で伝える。言葉でやるのはよいと思う。今後も続けてもらいたい。

同報無線の放送のように、お金をかけなくても、町がやらなくてはいけないことはたくさんあると思う。厳しい中でも、少しでもきめ細やかな対応を今後もしていきたいと思う。旧春野町については、森町より高齢化が進んでおり、そこでどのような対応をしているのか勉強をすることが森町の参考にもなる。不安になる気持ちはわかるが、少しでも楽しく生きていくためには、どうしていくかを考えなくてはいけない。山については、森林づくり税が導入される。この地域は、アクティ森があり、太田川ダムもできる。新しい動きに向けて、今後も歩んでいかなくてはいけない。町としてもしっかりと考えていかなくてはいけないと思う。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

<天方地区（西俣・黒石・葛布 町内会）>

日 時 平成17年11月28日（月）午後7時～8時45分
場 所 黒石公民館
参加者 約30～40人

東海地震が叫ばれている。新潟では中越地震も起きている。災害に備えて通信手段の整備をお願いしたい。衛星無線電話を配備しているところがあるが、実際には電源がとれない、使い方が分からないといったことを聞いたことがある。伝達手段を整備して頂きたい。

西俣地区は、七夕水害の被害もあった。近年の大雨で、要橋の下流が崩れた。崩れた土砂が川をせき止めると水が田んぼの方へまわる可能性がある。横北橋から笹田の道路も2回通行止めになった。どこにどんな危険があるか分からない。防災関係のものがあるのかといろいろ調べたが、なかなか見つからなかった。4月に防災係で、防災マップをもらってきた。見た人が少ないという。見ていなければ、立派なものを作っても意味がない。地区別の地図があれば、危険箇所を書きこむことも出来るし、認識することもできるのではないかと思う。

街路灯、防犯灯について、夜、実際歩いてみて、西俣から黒田へ抜ける道が暗いと思う。田能のバス停付近も暗い。学校へ話をしたら、県道であるので、県の方へ申し出ないとダメということであった。前もって危険ということを知り、設置して頂きたい。要望に関してスムーズに話が進んでいくとよいと思う。

西俣の天島地域の東側の山が、大雨が降って地崩れがあった。町の方へ陳情すれば処置・対策の方はしてくれるのかどうか。地震への対応を含めてお願いしたい。

第7次総合計画を読んだ。農林業の振興については、担い手不足により横ばい傾向、商業の振興にしても、大型店舗ができ、商店街も閉まっている。工業の振興についても企業の誘致ができていない。そういった中では、個人的には観光の振興だと思う。天方地区にはアクティ森がある。活用して頂きたい。友田家等を含めてダム周辺の整備をお願いしたい。第7次には、アクティ森と連携した宿泊施設の整備をし、日帰り型から滞在型への転換を目指すということが書かれていた。実際、キャンプ場、コテージなどの施設もできている。キャンプ場、コテージについては有限会社アマガタが管理している。指定管理者制度の導入には、是非、有限会社アマガタにしていきたい。

北部山間地の郷づくりについて、三倉・天方地区でグリーンツーリズムの研究会というのをやっている。私も参加し、視察ということで、飯田市にも行って来た。都市との交流ということだが、グリーンツーリズムを更に進めて頂きたい。そのためには地元の住民がしっかりしなくては行けないが、行政も指導をお願いしたい。

行財政改革の関係になるが、地区からの委員、役員等の数の見直しをお願いしたい。例えば、民生委員について現在42名いる。天方地区については、約400世帯で4人、一宮地区については約480世帯で3人、園田地区約980世帯で5人、飯田地区約1,100世帯で6人、三倉地区について

は、約340世帯で5人、昔ながらの割り振り方だと思う。バランス関係を見直して欲しい。天方地区については、葛布、黒石、西俣で1人、亀久保で1人、鍛冶島で1人、大鳥居、問詰で1人、負担のバランスが崩れているおり、選出にも苦労する。

投票所については、天方地区には亀久保公民館、天方小学校の2ヶ所ある。立会人にも数回出ている。車で投票に来る時代であり、1ヶ所にすれば、立会人や職員の数も少なく済むと思う。思い切った見直しをお願いしたい。行財政改革につながると思う。

第8次では、思い切った行財政改革をお願いしたい。単独という大変な道である。中日新聞で見たが、合併しなかった川根町が行政サービスを維持するのは無理ということで平成19年度中には合併するということが書かれていた。そういった中、厳しい道のりだが、町長がリーダーシップをとって、住民、議会と協力して、「さずが森町」ということを見せていくべきと思う。

学校問題について、泉陽中の体育館がやっと新しくなった。少子化、過疎で子どもが少なく、100人いない。そういった中で建物はよくなる。中学校の数は少なくともよいと思う。そうすれば建物も少なくすむのではないか。

学校の統廃合は非常に難しい問題であり、地域の声がどこにあるかということが大事である。

第7次の計画に、スポーツの振興、指導者、組織、施設の整備とある。天方小学校のグラウンドのトイレが旧式のものだということを聞いたことがある。使用した人がどういう印象をもって帰るかということを考えると、好印象をもって帰ってもらったほうがよいので、トイレの改修をお願いしたい。

大鳥居・問詰の地区でも意見があり、教育委員会で計画的に検討しているところである。

人材育成について、天方小学校では「挨拶をしっかりしましょう」という指導をしているが、中学生になるとぞんざいになってしまう。しっかりとした教育をお願いしたい。

共同水道について、水質検査をした。コウノ沢という所に堰堤を作った。作るときに個人の水道をやめて、共同の水道を作った。水源を掘ってあるところが、川の隅で水の出が悪く、濁っている。掘り直しても同じ。水がたくさんでる状態にして欲しい。ダムの関係で上水施設が西俣までくるのか。今の段階では衛生面でも不安である。

上水道については、現在設置してあるところまでしかこない。こちらからも伝えるが、詳しくは水道課へ相談していただきたい。

ほったりやコテージについては、少年サッカーの合宿で使わせもっている。森FCでは年2回、招待試合を行っているが、宿泊施設がなくて、豊岡荘などに宿泊してもらっている。できれば森に泊まって頂きたい。さざんか荘もあり、利用しないのはもったいないと思う。すぐにどうこうという問題ではないが、スポーツを通じての交流が盛んになったらよいと思う。

観光について、富士市の女性が、小國神社に行こうとしてタクシーに乗ったら、運転手の対

応が悪かった。という新聞のコラムを読んだことがある。そういうことでは客は来なくなってしまおうと思う。観光に接する人が意識を持っていないとダメである。

娘が高校生であるが、学校へ行く方向・手段が限られている。特に磐田方面への交通手段が少ない。学校ぐらいは自由に選ばせてあげたいと思う。

重要度と満足度について、病院については、重要度は高い。しかし、医者が多いわけではない。御前崎病院も医師がいなくなった。森町病院は、高齢者の利用が多い。近くに大きい病院もない。経営が苦しいとは思いますが、医師がいなくならないように、住民の安心のため、しっかりと検討していただきたい。

河川の保護について、十兵衛淵が埋まっている。土砂の採取によって流れが変わり、昔の淵に土砂が溜まった。元に戻ればよいと思う。公衆トイレについては、西俣、アクティ森の所にあり、清掃管理を町内会でやっている。西俣のトイレは、中はきれいだが、囲いは腐ってグラグラしている。直してもらおうと思ったが、予算の関係でダメだった。怪我をしたら大変であり、修理をして欲しい。アクティ森のトイレも、一ヶ月以上使用禁止している。冬も必要なかどうか。川へ遊びに来る人のためであれば、夏だけでいいのではないか。

第7次の計画に観光漁業の推進というのがあるが、アクティ森の奥で鮎のつかみ取りを提案したが、漁協がダメということだった。漁協と連携して、鮎のつかみ取りをしてはどうか。

どこでも自由に、キャンプやバーベキューができる状態であるが、どこか場所を決めて出来るようにしてはどうか。

太田川ダムは、観光資源になると思う。ダム湖の名前の公募やいろんな木を植えて自然の再生をしてはどうか。

数人の人が観光について意見を言ったが、森町は道路が悪いと思う。特に南町の道路、南町の公民館の前を通過して、堤防道路に出る。観光を売りにするならばそれなりに道路を整備しなくてはならない。森川橋も危険、通過にも渋滞で時間がかかる。元開橋のT字路も観光シーズンには渋滞するので、信号や右折レーン等の整備をしてはどうか。

役場職員の能力の向上という非常に難しい問題が出ているが、私は能力はあると思う。ただ、仕事に対する意識の問題だと思う。平成9年に戸籍をとりに行った。見たら間違いがあった。「これおかしいよ。」と言ったら、「通知に従って正しく処理しています。」と言われた。通知に従って処理されているか分からないが、とにかく違っている。「三重県に観音寺市というのがるか調べて下さい。」と言った。違っていたのは、三重県と香川県の違いであった。すぐに対応して頂いた。一昨年、子どもの戸籍謄本がまだ違っていた。「これは通知に従って正しく処理されています。お宅のほうを持ってきた通知が違っている。」と言われた。発信元の電話番号を聞こうと思って、役場に電話したら、「お客さん、こちらで調べます。」と言われ、15分後に「こちらの手違いでした。送りますか、取りにきますか。」と言われた。私は、自宅まで持ってきて、「すいませんでした。」と言うのが筋だと思う。役場まで取りに行ったら、コンピューターの誤操作だということだったが、おかしいと思ったら調べるのが仕事、仕事に対する意識が足りな

いのだと思う。

お祭りの時に、泉陽中学校の前の堀で怪我をした人がいた。対策については、以前役場にお願ひした人から、「それは県の仕事だ」と言われたのを聞いている。10月13日に町にお願ひに行った。言った、聞いたでは困る。自分が直接土木へ行けというなら行くし、要望書を出せというなら出す。「ちゃんと手続きを踏みます」ということだったが、未だに返事はもらっていない。対応はしてくれているかもしれないが、未だに何も聞いていない。そういう対応は直して欲しいと思う。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 森地区（向天方上・向天方下町内会） >

日 時 平成17年11月14日（月）午後7時～8時45分
場 所 向天方上公民館
参加者 50～60人

協働まちづくり委員会に参加して感じていることを踏まえて意見を言いたい。最初に、町村合併50周年記念式典に参加しての感想だが、来賓の挨拶に、合併しなければ駄目だという挨拶があった。単独で行く町の行く末に水をさすようで残念だった。県の予算についても、町民の皆さんに知っているかという挨拶があったが、町民の方ほとんどはそのようなことは知らないのが普通であり、町民を愚弄しているような挨拶だと思った。しかし、シンガポールのような人口の少ない国でも成功しているという例をあげて、合併して大きくなればよいだけでなく、小さくてもやっていけるという話もあった。では、森町が生きていくには、どうするか。地場産業の活性化、企業の誘致などをして、税収をあげ、がんばって見たらという話もあった。大きくなるばかりがよいことではない。総合計画を策定していくには、そのようなことを念頭において考えなくてはいけないと思う。

今後は、インフラの整備より起業おこしに投資していくようなことを、総合計画でウエイトをおいてはどうか。また、町の予算の半分は、自主財源で、半分は国や県からの交付金や補助金である。今まで、社会全体としてバラまきの行政であり、アクティ森にも4,500万円も予算がついているが、入れ込み客も減ってきているなか、収入として返ってきているであろうか。こういうお金を町おこしの必要な財源に充てるべきであって、アクティ森などは民間に委ねてしまうなどの策をとった方がよいではないかと思う。外の人サービスの為にお金を使う必要はない。我々の生活基盤を良くすることが重要であると思う。

行財政改革については、役場の人件費を減らすのにも限界があり、町民も役場任せでなく、役場に協力していくことが大事である。行財政改革は、シビアなところできちっとやってもらいたい。

森町病院については、かなり負担になってきていると思う。アンケート結果には、病院を充実させたいという意見もあるが、総論賛成各論反対ということで、年寄りには森町病院に行くが、若い人たちは袋井、掛川、浜松の方の病院へ行ってしまう。人口2万人の町には、荷が重すぎると思う。聖隷事業団などに、委ねてしまおうとか、安く買ってもらおうとかしてもらおうのが良いのではないか。聖隷の森町病院になれば、町民も行くのではないか。森町病院への輸送のバスの問題も病院があるから出るのであって、病院がなければそのような問題もない。早くそのように移行していくのが良いのではないか。国、地方には1千兆円の借金がある。森町も合併したとしても、追いやられてしまう不安がある。小回りがきく地域としてやっていくのが良いのではないか。

第2東名ができて、袋井春野線をどうするのか。向天方は大型バスが入れないので、天森橋の架け替え、拡幅も含めて検討してほしい。バスが入って来れないような町では駄目だと思う。県道を向天方側にもってきてはどうか。保育園の老朽化が進んでいる。保育園の建て替えをお

願いたい。

森の祭りを見に来た観光客が、ご飯を食べるところがなくて、不自由しているという話をよく聞く。アクティ森の活用や望月プラザの前で地場製品の販売や食事のできる休憩所を作ってはどうか。

もりもり2万人まつりには、役場職員全員が参加するようにしてもらいたい。全職員で盛り上げてもらいたい。もりもり2万人まつりは、商工観光課がやっていることではなく、森町役場全体でやっていることだと思うので、頑張ってもらいたい。

森町のイメージというと、遠州の小京都というのがある。私が見ても、なるほど、小京都だなと思うところもある。「森町は、小京都だよ」ということを全面的に出していくようなまちづくりの方針がよいのではないかと思う。財政的なことは分かりませんが、まちづくりの方向としてはそのようなことをやっていくのが良いと思う。

向天方では、桜のシーズンになると、桜を守る会を中心に、桜まつりをやっている。始めてから何年になるか分からないが、やっと大々的にやれるようになった。町の財政難で補助金等15%カットという話を聞いた。アンケート結果にもあるように、町内会と町が協力していくということがある。今後尻つぼみにならないように、町として手を引いていくのではなく、持続させるように援助をお願いしたい。

アンケート結果の中の、サービスの負担とバランス、行政サービスの維持について、今の行政サービスは、当たり前前のレベルにあるのか分からないが、少ない人口でも、サービスのレベルを上げていっていただきたい。

資料14Pのアンケート調査の結果で、森町の良いところは、山や川の自然環境がよいということがあげられている。袋井や磐田で働いていても、森はいいところだねということをよく言われる。住んでみて、一面的にはいいところだとは思いますが、自分の子供のころと比べると、だいぶ昔とは変わってきている。自然環境には興味があり、ホテルの里づくりなどもやっている。農村である向天方の川がどうなっているか。4月～8月くらいは、さわさわと水も流れているが、冬になると川というよりも下水になってしまう。袋井などと比べても、環境保護に対する力の入れ方が違うのではないか。今後は、よその町から素晴らしい町だなと言われるような、河川改修をし、昔の川を取り戻したらどうか。菜華の用地内に昔は土側溝の水路があった。川の再生案を作り、自分たちで重機を借りて再生しようと考えたが、コンクリートで固められていて、現在は中断している。太田川ダムができてどうなるかという心配はあるが、自然を大切にしまちづくりが重要だと思う。町中に水がさわさわと流れているそんなまちづくりをお願いしたい。

桜まつりやホテルの里づくりなど、森町地内へもっとPRしてはどうか。そうすれば、他のところでも真似をしてやってみようと思うのではないか。一宮谷崎地内でもそういった活動をやっている。天方城址をよくするといいのではないか。今は、見晴らしが良くないので、木を切るなどの改良をしたら良いのではないか。

アンケート結果の良くないところで、育児・教育関係が良くないというのがでている。保育園の子供達が園外保育で外に出る。その時、先生に元気がない。子供達も挨拶がない。園長とかは、いろんなところをまわった方が良いのではないか。

各地に道の駅というのがあるが、そういうものが森町でもできるのか。掛川にも立派なものが出来た。出来ればそういうものを作っていただきたい。

予算については、今は金利が安いので、思い切って借金をして、先行投資してみたらどうか。それを使って町の活性化に利用してはどうか。

太田川に多目的ダムが建設されている。鮎とかが産卵期になると川を上ってくる。しかし、数年前から、山梨ぐらいから上ってこれない。水が増えて、8月9月ぐらいから上ってくる。河川の整備をお願いしたい。昔に比べて河川が浅くなっている。安心して鮎とかが住める川にしていきたい。吉川は鮎でも有名であり、鮎とかが増えれば、そういうものを利用した郷土料理とかも出来るのではないか。

向天方の人々は、地域としていろいろ取り組んでいる。それが今後も発展していけばよいと思う。森町以外の人に森町に来てもらって、森町にお金を落としてもらうのが良い。昼食も食べる場所もない、泊まる場所もない。地場産品を外部の人に買ってもらい、それが町のお金になっていけばよい。向天方だけでなく、町全体で、町おこしの住民意識が高揚していくとよい。例えば、さざんか荘を立て直してレストランにするとか、町民が株主になって何かをやっていくとか、そういったことをやっていくことが重要ではないか。お金を産み出しながら、自然を大切にしたい地域おこしをしていかななくてはいけないと思う。

野良猫が多い。一般家庭の玄関も開けて入ってきてしまう。昨日、役場で捕獲檻を借りて捕獲したが、一週間預かって欲しいといわれ、仕方なく掛川との境の山の方に逃がしてきた。野良猫を家においておきたくないので、対応をお願いしたい。

最近のまちづくりでは、袋井や掛川の田舎が良くなっている。袋井の山梨が特に良くなっている。森町も合併していれば、良くなったのではないかと思う。

アンケート結果にあるように、町職員の能力の向上をお願いしたい。特に保健福祉課の接遇について教育をしていただきたい。福祉課に行く人は、弱い立場の人が多く。もう二度と行きたくないという声も聞く。接遇の教育をお願いしたい。

和歌山県で、稲むらの火で部落を救ったという話をテレビで見た。10年間の計画とあるが、このような人を育てるにはどうしたらよいか。教育が全てではないかと思う。いい人材が森町からどんどん外に出ている。周智高校にはいい機材がそろっており、機材を使える技術のある人を育てなくてはいけない。教育は10年ではなく100年くらいの単位で大事なことである。教育に力を入れれば、今のような犯罪もなくなると思う。昔の人の良い言葉は、マスコミなどによっ

て、現在の人々に広く伝えられている。お金のことも大切であるが、人と自然の中で生きていくうえで重要なことがあるのではないか。

向天方は、シニアの人が元気な地域である。まちづくりにおいては、いろいろな技術を持っている人がいる。まちづくりで何かをやるときは、ぜひ声をかけていただきたい。そういうことで、地域も活性化していく。年々高齢者が増えており、生き甲斐ではないが、生きている間は何かをやっていくという姿勢が大事ではないか。

人材バンクがある。技術をもっている人は、そこに登録する。そういったことをもっと広報していただきたい。

教育は大事である。無気質な子供が多い。0歳から3歳までの育て方が難しい。そこで教育を間違えるとおかしくなってしまう。現在は親が共働きしなければならない状況にある。保育園に行っていない家庭に補助金を出すなど、子育ての単価にあう補助をお願いしたい。生活が苦しくても、子育てが出来る。子育てについて考えなくてはいけないと思う。

5歳児が年下の子供の面倒見るといった、子供なりに保育園などでも色々なことが培われる。お金だけの問題ではない。人間形成において保育園は活躍している。高校教育はどうだろうか。小さい頃からの子育てが大事だとは思う。

テレビで矢祭町のことを放送していた。少子高齢化の対策として、子供3人目から100万円の補助金を出していた。町の仕組みを含め、森町もこういうところを勉強してもらいたい。

豊かさ広がって、ゆとりと活力があるまちということがあげられているが、活力があるということはゆとりが犠牲になる。逆にゆとりがあるということは、豊かさや活力を犠牲にしなくてはいけない。まちづくりの方向性も、福祉・医療の充実した町を目指せば、公共事業等他の部分はある程度我慢しなくてはいけない。メリハリのある予算配分をし、町民にも行政から方向性についてしっかりと示していただきたい。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 森地区（城下上・城下町内会） >

日 時 平成17年11月15日（火）午後7時～8時45分
場 所 城下老人憩いの家
参加者 40～50人

アンケート結果を見て自分の考えと同じだと思った。森町から東へは掛川に抜ける道が、南には袋井に抜ける道があるが、西の磐田へ抜ける道がない。その道が出来れば、浜松の方からも人が来るのではないか。お金も落ちるし、浜松等への働き口も増える。森町に会社が来てくれればそんなにいいことはないと思うが。

三倉や吉川の方へは病院の患者輸送バスが行っているが、城下の方は、路線バスに乗って病院へ行く。病院へ行っても、帰りのバスの時間がないので、歩いて帰ってしまったほうが早い時もある。バスの運行についてもう少しうまくやっていただきたい。

バスがバイパス（県道）を通る。自分も今は車を運転が出来るが、いつまでも運転が出来るわけではない。高齢者や病院へ通う人がバス停のあるバイパスまで歩くのは大変だと思う。以前は、奥へ行くときは城下の町の中を、下へ行くときは堤防の道路を通っていた。大きなバスでなくてもよいので、小さなバスで城下の町の中を走らせたほうが利用度が高いのではないか。郵便局や役場、病院を巡回するような利用されるバスを考えて欲しい。年寄りが多い町であるので、利用価値のあるバスを考えて欲しい。

11月1日からテレビの地上波デジタル放送が始まった。森町の電気屋に聞いたら、城下地区は、前の山が邪魔で映らないと言われた。公平な電波が届かないのはおかしい。城下地区にも電波が届くようにしていただきたい。

活力ある産業振興、商業・工業・観光の振興ということで商工会を通じて活動してきた。前回の総合計画も読んだが、具体的なことはなかなか書けないかもしれないが、「促進します、検討します」ということが書かれていた。今年度は、商工観光課とともに商店街の夏祭りに出させていただいた。片付け等夜遅くまで一生懸命やっていただきありがたかった。商工観光課だけでなく、横のつながりを持ちながら行政の運営をお願いしたい。アンケート結果に職員の能力の向上ということがあったが、私は職員に能力がないとは思わない。ただ、場所場所において横横のつながりがないので、そのような意見がでてくるのではないかと思う。横のつながりを持っていただきたい。

合併したところの話を聞くと、「商業面では残念であった、合併して運営がうまくいかない」という話を聞く。そういったことを加味しながら、今後10年考えていただきたい。商業も頑張らなくてはならないと思う。単独で行くことは財政的にも大変だとは思いますが、頑張りたい。

森町でもいくつかの文化財が指定されていると思うが、城下でも、城下学校、町並み、常夜灯の3つが指定されている。城下の町並みについては、他の地方から見たいと行って見に来るが、実際どういうところが城下の町並みなのかわからない。昔からの家も取り壊されようとしている。保存に関して、町の方で力を貸してもらえるのか。城下学校も床がぶかぶかで、修理をした。避難地にもなっているので、安心して使用できるよう改修を考えてほしい。

郵政民営化が本格化し、進んでいるが、城下郵便局の存続をお願いしたい。

森町には立派な保健福祉センターがあるが、城下の人には利用度が低い。城下方面にバスを巡回して頂ければ、利用率も上がるのではないかと。第2東名の工事が止まっているように見えるが、どのようになっているか心配である。

第8次総合計画、今後10年間の計画を策定するわけだが、国・県の財政も厳しい。森町の行政は健全な方向で進められていると思うが、行財政改革について、しっかりやってほしい。

資料20Pの「森町の町政運営について今後どのようなことを望むか」ということで、「町職員の能力の向上」とあるが、職員の能力がないとはいわない。職員の仕事については、3年から5年で異動してしまう。他の課へ異動しないで、10年間くらいやって、その道のプロになるようにして頂きたい。

以前、道路に関して町内会でアンケートをとったが、城下から下に出ていくのに、堤防（県道）を歩いていくか、明治町の通りを歩いて行くしかない。バスの車庫からいずか書店の前の道、仲町の通りを交互通行にしたらよいのではないかと。以前町内会で要望を出したところ、町の中の人に反対された。その道があれば、新町の通りに行くのも便利になるし、小学校に行く父兄の人にも楽になると思う。一部だけでなく全体の見直しを考えて頂きたい。

農業用水について。元開橋の奥に水門がある。トンネルがあいているが、昔、城下の部農会で掘ったものであり、昨年も11月から3月まで水が流れていない。今年も今、流れていない。町の方へ流すように考えて頂きたい。

修復作業中であり、今後は流れるようになる。

母親が愛光園にお世話になっており、自分も森町病院にお世話になっていた。高齢化社会を迎え、病院や施設も民間で出来ているが、金銭的にも大変であり、施設を作る場合、国県町で全額補助を出してくれるのかどうか難しい時代。そのような中、施設でなく、施設で働く人の育成が大事だと思う。この間、高校生が看護師になるといって、職業体験に行き、やっぱりやめた。という話を聞いた。看護師も大変であり、また、御前崎の病院も先生がいなくなったと聞く。福祉等に携わる人を育てることが大事だと思う。

同報無線で1ヶ月に1度町長の声も聞けて良いことだと思う。放送内容については、行事等もう少し詳しく教えて欲しい。前日だけでなく、前もって行事の放送をお願いしたい。1度では聞き逃すこともあるので、2度繰り返して頂きたいと思う。

広報もりまち10月号に平成16年度決算報告が載っていた。公営企業会計の森町病院の経営が厳しいと思うが、改善に向け頑張っていたきたい。

生活道路と幹線道路について。物流のための道路が町の真ん中を通っても仕方がない。町の中は生活道路で人が歩いていけるようにするとか、森町という大きな地形の中で、生活道路と物流のための道路を考えた道路づくりをお願いしたい。

観光については、小さな案内看板が立っており、いいなと思う。同時に森町全体のわかりやすい地図を袋井から入ってくるところや戸綿などに設置されると良いと思う。

教育については、周智高校と森高校の合併の話がある。そういった中で、幼・小・中の一貫教育に対応していけるのかどうか。幼・小・中・高の一貫教育の流れが出来ていくのが良いのではないかと思う。鈴木藤三郎先生などの意気込み、流れを大事にしていきたい。

毎晩、夕方5時40分ごろ、森川橋の上で、信号が3つ変わるくらい止まっていると、ものすごく揺れるのを感じる。森川橋架けかえの現状はどのようになっているか、しっかりと架けかえをしてほしい。

バイパス（県道）が暗いので、街灯を付けて頂きたい。

自分の目を見て、耳で聞いたわけではないが、悪徳商法の人が痴呆の人を狙って城下にいるらしい。実際に被害に遭った人もいるらしい。警察には相談していると聞くが、役場にいる人にも地域を見ていただくとありがたい。民生委員、町内会に言っているものか分からない。まさか、城下でもこういうことがあるとは思わなかった。

（以上）

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 森地区（赤松・川向・本丁・開運町・川久保・大上・橋・薄場町内会） >

日 時 平成17年11月16日（水）午後7時～8時45分
場 所 大上公民館
参加者 40～50人

アンケート結果を見て、こんなアンケートは意味がないのではと思う。初めから答えが決まっていたこの中から選んでくださいってような感じだったと思うが。資料の21Pの「サービスと負担のバランス」について、「サービスは維持しますが、負担は上げません。」というような選択肢は、用意できなかったのか。努力をする意志が感じられない。外からみて、無駄が多いように感じる。都市計画課、建設課、民間だったらとっくに統合している。10年という期間でなくて、半年くらいで変えていけばよいのではないか。豊田合成やモリックにはノウハウをもった人がたくさんいる。そういう人を活用していくのはどうか。先日、森川橋掛け替えの関係のワークショップに参加したが無駄だったと思う。橋のたもとからオカダ屋までの橋の架け替えに伴う町並みの形成を考えるというものを半年近くかけて考えた。しかし、実際には、拡幅したら家は2, 3軒しか残らない。そんなことは初めからわかっているのになぜ、そんなことを考えさせるのか。お金もかかっているのではないか。とにかく無駄が多い。少しずつでも、お金を削っていけば、すごい金額になると思う。入ってくるお金がないのであれば、出ていくお金を抑えていくしかない。10年という長い期間でなくて、半年とか短い期間で、目標を決めてやっていったらどうかと思う。

若い人たちが森町に住まなくなっており、このまま放っておくと高齢化がもっと進み、高齢者だけの町になる。合併が出来れば、市の中での異動があっても、市の人口は変わらない。単独でいっても、年寄りだけの町になってしまう。高齢化しないような施策を考えて頂きたい。計画の進行にそういうところを入れて欲しい。

田舎での高齢化対策は難しいと思う。まちづくりについては、アンケート結果を見ると財政改革など、行政コストの見直し等、出るものは抑えるということがほとんどである。もう少し、森町の中へお金が入ることを考えたらどうか。お金を落とすことを考えると、観光の充実、企業の誘致などがあげられるが、日本全体の経済状況を考えると、それはなかなか難しいと思う。例えばの話、核最終処理施設を誘致するとか、大きい公営ギャンブルを誘致するとか、大型レジャーランドを誘致するとか、そういう極端なことを考えてもおかしくはないと思う。高齢化の話では、森町病院を老人専門の病院にしてしまうとか、町中をバリアフリーにして日本一老人の住みやすい町にするとか、第2東名が出来ればアクセスもいいし、自然環境がいいので、老人施設を充実させるとか、それに付帯して大型ショッピングセンターなども来ることも考えられる。出ることを抑えて我慢することも大事だと思うが、何かを打って出ることも大事ではないか。お金をかけるところはかける、お金が足りなければ、税金を上げるにしろなんにしろ、町民に納得してもらって、施策を進めていくのが良いと思う。

町外へ勤めている。周りには、森町ファンの人が多い。週末は森町に行くとなんか楽しいことがあると言っている。そういった方々は、高齢者ではなく、団塊の世代の人々である。郊外には、遊休地や空き家も多くある。過去、畑だったところもある。都市に住んでいる人が、週末だけでもそこを利用して楽しめるのではないか。将来は、退職した人たちなどに、土地や建物を提供してはどうか。

アンケート結果にある、職員の能力の向上について強く要望している人が多い。具体的には能力向上に対してどのようにやっているのか、今後どう考えていくのか。民間では、自分で考えていくのが当たり前であり、実力主義なので、数字をあげなければ給料も貰えないし、下手をすれば職を失う。その辺については、町の職員はどの程度考えているのか。みんながいろいろなアイデアをだせば出来ることもたくさんあると思う。

10年間の総合計画を策定するということであるが、当然、収入を増やして、支出を減らすということになると思うが、どのようなバランスでやるかが大事だと思う。そのためのアンケートだと思うが、重要度と満足度の分析について、第7次総合計画との関連づけがあるとよいと思う。アンケート結果にも出ているが、自分も思うに森町は住みやすい町であるし、インフラの整備の遅れや高齢者が多くなるということが気にはなるが、こういう施策をしてきたが、それに満足しているかどうかということを考えて欲しい。重要度と満足度の分析がまだ十分には出来ていないのではないかと思う。

参考資料に天竜浜名湖鉄道の新駅の設置というのがあるが、それは何か要望があるのか。それを作ることによって利便性があるのか。また、町民の森整備予定図というのがあるが、どこにあるか。どれくらい人が来るのか。

この当時（第7次総合計画策定時）、森町病院を移転するという話があり、病院へ行くのに都合がいいので、病院近くに駅を作ってはどうかということで計画に載っている。

町民の森については、陣屋峠、もみの木授産所の近くにある。どのくらいの人 coming かという数字は把握していない。

参考資料に病院事業の見直しというのがどこかにあったと思うが、どのようなことか。病院には負債があり、そういったことではないかと思うがどうか。病院は毎年、繰り入れはどのくらいか。また、赤字を埋めていくような計画はあるのか、

第7次の総合計画の策定時に、10年前に病院の移転計画があったので、それを計画に載せているということ。繰り入れは、毎年4億5千万円くらいである。経営を良くするには、最大の計画は、病気になった時、他の病院に行くのではなく、森町病院を利用させていただくことである。病院は企業会計でやっているのだから、減価償却の累計が17億の赤字になっているが、現金で17億の負債を抱えているということではない。現金ベースで赤字にならないようにということで、単年度収支で町の一般会計から繰り出している。その金額が、4億5千万くらいになる。内訳は、毎年、建物の返済部分で2億、ランニングコストで2億円くらいである。森町病院が必要であるという町民の声が大きく、町民の福祉のために、多少負担になっても病院を存続させている。以前の森町病院も同様の状況だった。このような施設を作って運営していくということになると、皆さんに利用していただくことが大事になる。

人口の問題もあると思うが、森町病院に森以外から来る患者は少ないのではないか。

磐田、袋井、掛川にも公立の病院はある。明治の頃、公立としては森町が一番最初に開業した。森町には開業医が少なかった。救急医療としての役割もある。医療圏域としては3万人くらいの圏域である。県下の町では、町単独で公立病院をもっているのは、森町だけである。皆さんに利用していただき、運営していくしかない。町民の方のどのくらいが森町病院を利用しているのかという割合は、国保の会計でみると、だいたい3割強の人が利用し

ており、あとの7割の人は、他の病院に行っているということになる。病院に行くのなら、出来るだけ森町病院を利用して頂きたいということである。

病院について、民間企業の考え方で行くと、旧大東町だかに東京女子医大の研修施設があるので、それを森町に引っ張ってきて、そこにお金を出させて、偉い先生をつれてきて、森町病院で見えていただく。浜松や磐田などからもいい先生を呼んで来てはどうか。

そういうことが出来ればやっている。旧大東町は掛川市になっているが、その掛川の公立病院へも東京女子医大から先生は来ていない。先生は、経営的に良くないと来ない。例えば、聖隷に来てくれませんか頼む。しかし、聖隷事業団も、採算がとれて、利益があがるならば来てくれる。掛川でも磐田でも病院を建て替えてやっているが、多額の赤字を出している。国は、制度的に医療費を抑えようという方向に進んでいる。全国の国公立の病院は大抵が赤字であり、ほんとに一握りの病院しか黒字になっていない。開業医には利益が出ており、開業医に利益が出ていて公立病院に利益が出ていないのは、制度的に問題があるのではないかと思う。森町病院も平成14年に利益があがろうとしたときに、医療費制度の改正によって、1億円ほど利益が下がってしまった。今度の研修医の新制度によって、御前崎病院の内科の先生はいなくなってしまった。公立病院の置かれている状況は非常に厳しい。

しかし、なぜ自治体で病院を運営をしていくかということ、住民の医療の支えとなり、住民福祉のための役割をもっている為である。民間の様に営利目的でやるのであれば、それはそれで考え方がある。医療圏域の問題もあり、その圏域でのベット数も決められている。どこにも余っていない。いろいろな制限があり、そのような中でどのようにやっていくかが大事である。

アンケート結果で、「自然環境がよい」というのがでてきている。しかし、今の川はよくないと思う。川を改善してきれいな水が流れるようにして頂きたい。そうすれば遊びに来る人も多くなる。森の町並み・景観について、町中に空き家が多い。町内の空き家対策を考えて頂きたい。危険なところもあり、通学路で瓦が落ちてきたところもあった。対策をお願いしたい。民間ではなかなか所有者に対して言うことが出来ない。

開運町の区画整理を役場の都市計画課でやっているが、それに伴い開運町の公民館の移転問題が出ている。重要度と満足度の分析にも、公民館の整備は、満足度も上の方にある。建て替えについては補助などがあるのか。こういった手続きをしたらよいか。

いろんな地区で公民館の建て替えをしているので、アンケート結果でも満足度は高い数値を示している。公民館の建て替えについては、総務課が担当であるので、詳しくはそこに相談して頂きたい。

第7次計画策定に参画させて頂いた。森町に工業誘致が出来ないため、労働力の定着が出来ないということがある。道路交通網も出来ていないため、観光も影響が出ているとも思う。第2東名が出来るということはチャンスである。森町は小京都と呼ばれており、これをもっと民間でもやらなくてはいけないと思うが、公共的にもある程度活用して観光の活性化をしなくてはいけないと思う。

北戸綿の工業団地についても、出来るだけ早く工業誘致をして頂きたい。立地しやすくするような工夫も必要だと思う。

今後10年間には、合併の問題も出てくると思う。袋井や磐田との合併も考えなくてはいけな

いと思う。合併のことも考えて計画をたてて頂きたい。そういったなかで、病院の解決策も出てくると思う。

他の市町からも、単独ということで注目されている。森町はこれからどういうことをすべきか。どういう風に進むのか。その都度、町の考えを町民に知らせ、意見を聞くことが重要ではないかと思う。町が一致団結して進んでいく。他の地域の人に明確に示せるような町政をお願いしたい。

第8次を策定するにあたって、第7次総合計画についての進捗率みたいなものは、どうなのかを知りたい。

現在、第7次総合計画の進捗状況については、とりまとめ中であるが、事業の着手率については、概ね80%強である。

天宮では、区画整理が進んでいる。調整池を作っているが、当初の計画では、底とのり面は、ブロックできれいに作る予定であったが、素堀の調整地に変更になった。今後、区画整理の土地には、若い人たちがたくさんの方が来てくれると思う。調整池は、最初の設計のとおり、きれいなものにして頂きたい。

「収入を増やす方法はこうだ、支出を減らす方法はこうだ。」というような大きな柱のようなものを立てて頂きたい。森町が進むべき方向というか、大きな方針のようなものを町民に示していくことが重要だと思う。

収入と支出のバランスの分かるもの、目標のようなものを、町民にしっかりと出してもらうといいと思う。

第8次総合計画は、10年間の計画でいいと思う。では、森町が10年後にあるか、ないかということが問題であり、将来は、どこかと合併するのか、そういう目標をもつことも重要ではないか。いずれはどこかと合併をする。合併した時に、老人施設は森、観光施設は森といった、役割分担的なことをもつことが大切だと思う。

太田川ダムが出来ると。夏になると川に水がない。鮎釣りも出来ない状況である。ダムが出来たときには、常時水が流れているのか。また、ダムが出来るときれいな水が流れなくなるという話も聞くが、透明度のあるきれいな水を流して頂きたい。

ダムで水量を調整することになるので、平均的に水が流れるようになる。ただ、降雨量の問題もあるので、常時多量の水が流れるということではない。ダムの設計や運用上、出来るだけきれいな水が流れるようにしてある。規模もそんなに大きくないので問題はなく、途中で吉川と三倉川が合流することも考えると、その下流では、さらにきれいな水が流れることになる。

東海地震について、どのように対策をするのか、どういう救助をするのか。方針をたてることが大事であると思う。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 森地区（栄町上・栄町中・南町・大門・西幸町・促進住宅森 町内会） >

日 時 平成17年11月20日（日）午後7時～8時45分
場 所 町民生活センター 集会室
参加者 約30人

実家が掛川である。森町はとても住み心地が良いと思う。住み続けたいと思うが、今後も促進住宅はあるのか。森町に住みたいと思っても、土地が高く、なかなか手が出ない。出来るだけ安く土地を提供して頂きたい。

病院や下水道の整備で町がつぶれるという噂があり、その噂によって人間関係も悪くなるといった状況も出ている。町民は噂によってとても不安になる。計画の策定にあっては情報を正確に出して頂きたい。また、そういった情報を出す機関を作ることも大事ではないかと思う。

第7次総合計画の将来像を見ると、どこの町にも当てはまるような気がする。第8次の計画の将来像についてはアンケート結果などを踏まえて他の町にはないものを作って頂きたい。

協働まちづくり委員会に参加しているが、町民と行政とが一致団結してやっていくことが大事だと思う。行政が意識改革をして、模範をしめして頂きたい。福島県の矢祭町については、町民主導ではなく、各課から職員をだし、プロジェクトチームを作っている。山間部については、出張役場などもやっている。アンケート結果にもあるように、町の職員の能力向上が重要だと思う。役場が模範を示すことが大事。組織のスリム化も重要である。例えば、水のことで、生活環境課、建設課、農林課と複数の課が関係している。課をまとめて室にするのはどうか。議員も便利屋さんの立場で、町民の声を拾い上げていただきたい。

森町の1年間の予算で、国や県にたよっている率はどれくらいか。

町税収入は歳入の30%程度である。

アンケート結果の「今後どのようなまちづくりに重点をおくべきか」ということで福祉・医療の充実したまちづくりというのがあがっている。森町は高齢者が多く、私も週に1, 2回病院に通っている。しかし、以前いた医師がいなくなってしまった。そういうことがないよう、充実していただきたい。

遠州森駅前の店が閉まっており、そこに観光の案内人をおいて、案内所として利用したらどうか。町中の商店街の活性化についてどうしていくか、計画に載せていくのが良いと思う。さざんか荘については、家屋も老朽化している。以前第3セクターでやっていこうという話もあった。しかし、民間業者が踏み込んでやっていくということも難しいと思う。さざんか荘の利用についても考えていただきたい。森町に観光へ来た場合、食事をするところがない。袋井、掛川へ行ってしまう。その点についても考えていただきたい。

アンケートについては、いいところをついた結果だと思う。お金をどのように確保していくか。第2東名が出来れば、森町は魅力あるところだと思う。企業誘致が重要だと思う。また、労働力の確保についても、若い世代の人が森町に残るという面からも企業誘致をして頂きたい。宅地についてももう少し安く土地を供給していただきたい。

町にはお金がない。さざんか荘など、ビジネスコンテストして、民間で再利用してはどうか。要するに、遊んでいる土地や建物を利用してもらう。財政が厳しく、なんか先細りのような感じがする。前向きになるようなものを計画して頂きたい。

第2東名の早期開通をお願いしたい。そうすれば、工業団地に企業を呼んで税収を上げることが出来るし、パーキングエリアで地元の産物等も販売することが出来る。早期開通のため陳情等もやっていただきたい。三位一体の改革によって、補助金も減額されると思う。ハード事業からソフト事業への移行が大事だと思う。

最近、目につく犯罪が多い。低年齢化や常識はずれの行為を平気でやっている。マナーが悪いと思う。教育について力を入れていくべきだと思う。副読本などを利用して、学校で学んでもらうのが良いと思う。

町長も明日、第2東名の関係で東京へ出向く予定。

第2東名についてはいち早く開通させて頂きたい。企業の誘致は重要だと思う。高齢化が進む中、アンケート結果の15歳～19歳の人たちの「これからも住みたいか」という質問で、半分の人が他のところに住みたいという結果が出ている。心配なところであり、一度進学で出ていくというのは分かるが、出て行って、森町に戻ってくるのが重要。こういうことをみんな考えなくてはいけない。

土地について、遊休地をもっと有効に利用したら良いと思う。病院については、森町に病院が欲しいということで運営しているが、赤字で一般財源から持ち出ししている。存続しながらも安定した運営をお願いしたい。

さざんか荘を改修して、民間の人にやってもらってはどうか。また、民間の人にやってもらう気はあるのか、以前に打診等したことがあるのか。

さざんか荘については、そのままで使用は難しい状況であり、全面的な改修が必要。食事については、保健福祉センターが出来てその機能を移し、現在は貸し館だけやっている。貸し館業務も利用者が減ってきており、今後、行政施設としては閉める予定である。建て替えに関しても、崖禁の法律等の問題があり難しい。宿泊施設としても使えない状況であり、閉鎖して支出を抑えるという方向。町営グラウンドが近くにあるので、その付随施設としての役割も考慮に入れていくべきかなというところもある。

食事をするところ、泊まる場所がない。どこかあると助かる。民間では採算が取れればやってくれると思う。森町には他にはない目玉がある。観光客を呼んで頂きたい。

病院は最近MRIなどの機器が入り、施設が整いつつある。ほとんどの病気について、森町病院で治せるのか。医師や技師を引っ張ってくるのが重要だと思う。眼科については、医師が出ていった。月・水・金の午後しか診療がない。来月からは更に減るという。患者はたくさんいる。新しい機器が入ってくることはいいことだが、眼科の開業医は森町にはないので必要だと思う。

医師不足については、研修医制度が大きく変わったところに問題がある。研修医は2年間、例えば内科医は内科だけでなく、あらゆる科を勉強しなくてはいけない。そのためには全ての科がそろっている大きな病院へ行く。病院に来ている医師も指導者として元いた病院に戻ってしまう。2年間は我慢である。自治体の病院にはしわ寄せが来ている。森町病院も内科以外は浜松医大から呼んでいる。医師が個人で開業するなどして、いなくなってしまう。地域での医師がいない。御前崎病院から森町病院までみんな困っている。町単独で公立病院をもっているのは、森町だけであるが、市でも運営には困っている。袋井病院、磐田病院でもいらない科はない。広域的な病院経営が理想だと思うが、難しい面が多い。内科が基本であり、必須科はどここの病院でも欲しい。患者が少ないものについては役割分担が出来るが、森町病院については、町民の方に必要と言われながら利用しているだろうかというところもある。1次2次医療については森町病院で、3次医療については浜松医大、聖隷病院等連携してやっている。森町病院を出来るだけ利用して頂きたいと思う。

協働まちづくり委員会に参加している。地域ごとの懇談会も8ヶ所参加し、生の声を聞いている。重要度と満足度のグラフについて、満足度の一番低いところに鉄道やバスが来ている。お金をつくるには、観光以外ないと思う。泊まる場所がない、食べる場所もない、足がないではしょうがない。現在のバスへの2,000万円の補助もやめて頂いて、町中にコミュニティバスを走らせたほうが良い。そうすれば、高齢者の通院、買い物の便も良くなるし、天方小・三倉小の送り迎え等子育ての支援にもなる。小さいコミュニティバスを一刻も早く走らせて頂きたい。さざんか荘について、もう少し東側に移動して、木をふんだんに使った建物で、森林の町ということでやっていくのが良いと思う。町民にお金を出してもらい、1人1万円個人株主など、ありとあらゆる知識をだしていかなくてはいけない。町民の目からも森町はやっているねと言われるように。合併50周年式典でも森町は単独だということをさかんに言われた。みんなが見ているということ認識しなくてはいけない。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 森地区（明治町・新町・仲横町・本町・川原町・下宿 町内会）>

日 時 平成17年11月26日（土）午後7時～8時45分
場 所 町民生活センター 集会室
参加者 約30人～40人

回覧を見て、全部の地域の懇談会に行きたいと思ったが、行けなかった。春野町は、浜松市になったが、とても整った道路であると思う。春野町出身の岡本県議の力で先を見据えた総合計画のおかげだと聞いたことがあり、10年先のことはとても大事なことである。アンケート結果の「町職員の能力の向上」ということがあげられているが、これは町民の声なき声、期待感のあらわれだと思う。役場の職員の中にも有能な人がいると思う。問題は、その人達を適材適所に配置しているか、能力を発揮しているかということである。町のために常にディスカッションしているか、とても気になるところである。

第7次計画の基本理念に「自立と参加のまちづくり」というのがある。厚生年金受給者団体連合会という組織があり、全国に128万人ぐらいの会員がいる。掛川厚生年金受給者協会があり、6,500人ぐらいの会員がいる。森町については周智郡支部で1,200人ぐらいいる。22日に生活環境課を通じて、清掃ボランティア作業を行った。仲横町のバス停から太田川よりの道路敷、森川橋周辺の清掃作業を行い、非常にきれいになった。掛川、袋井、磐田でも清掃作業が行われている。森町の長期計画の中で、どういうことをやっていったら、社会貢献になるのか。行政では、総合計画のような計画をつくる。町民、一般の人は、一体何をしたら町に貢献できるのか。厚生年金受給者団体連合会は、全国的に社会貢献活動に力を入れている。会員は65歳以上で、年金をもらっているだけでは駄目、社会貢献をやっていこうということで活動している。

10年計画の中で、町内会、シニアクラブ等各団体の社会貢献活動について取りまとめを検討して頂きたい。町行政に協力していくことが大事だと思う。森町が単独でいくにはこういうことが大事だと思う。

ここに来るとき、3人で本町通りを歩いてきた。舗装が傷んで、小砂利が落ちている。ホコリもたつ。何とか補修をお願いしたい。下水路について、下水道事業をやり、家庭排水を流す前に、現在の排水路について見直し等もう一度考えて頂きたい。大水が出たときも対応出来るように、住民と相談しながらお願いしたい。

資料の3p心の木の部分、学校教育の大切さについて。過日、森小の歩道の所で、3、4年生の男の子と傘と傘がぶつかりそうになった。すると男の子がすぐに傘をとじて通してくれた。とっさの判断に心の豊かさ、学校教育の大切さをしみじみ感じた。また、郵便局の前で、小学5、6年生の女の子3、4人とすれ違ったときに、「こんにちは」と私に言った。私も「おかえりなさい」と答えた。そういう子どもの姿を見て、心温まる思いがした。小学5、6年生の頃は、町のことも少し分かるし、心も育っていく時期でもあるので、郷土愛を養う為にも、町長や教育長の話を通じて直接伺う時があればよいと思う。森町はこうなっている、こういうことをしているということを話す機会があればよいと思う。

（第7次の計画に）病院サービス、医療の見直しと書かれているが、透析について、森町にはないので、患者は掛川や袋井に行っており、個人にしてみたら大変だと思う。1日おきで費

用もかかる。透析の施設を充実させていく考えがあるのかどうか。森町病院にそのような施設を設けて頂きたいと思う。1日4時間、実費で5万円という話も聞く。森町の収入というか財政的にもよいのではないか。望月プラザについて、本町の人には利用しているが、町全体としてはあまり利用していないのではないか。町として、PRをしたり、遠くの人が寄れるように週に1回、また半月に一回バスを回したりして、来てもらうのはどうか。入場料も200円とっており、多少でも財政のプラスになるのではないか。

第7次の基本構想の基本理念に「自然との共生」、まちづくりの視点には「美しい郷土を守り、育てる」、まちづくりの目標では「自然環境の保全と創造」というのがある。森町は中山間地域で、比較的自然環境は保全されていると思う。それはアンケート結果にも出ている。重要度と満足度について、「自然環境の保護」は満足度は高いが、そのまま放置しておく、下がってしまうと思う。啓発、啓蒙しながら自然環境をどのように保全していくかが重要である。

周智平野について、太田川上流部土地改良区により、基盤整備は整っており、農振法により農地も保護されているが、担い手が不足している。現在は遊休地は少ないが、蜻蛉や蛙などの生物が少なくなっている。農業者との協調が必要であるが、ビオトープのようなエリアを作るなど、長いスパンで考えることが大事だと思う。

継続的な地域審議会のようなものを森町全体、各地区でやるような仕組みを整えて頂きたい。仲町の商店街を歩いていて、「日曜日にシャッターを開けているのは、私のところだけだよあ。これで商売やれっていうだか」という話を聞いた。今日の地区は、昔の町でいう6社で森町のもとであるが、出席者も少ない。これからの方向というか、そういうことを言える状況ではなく、暗中模索の状況である。10年後にこういう町にしたいと言えない。ここでの話も大事だが、継続的に話をするような地域審議会のようなものを開いてはどうか。

本町、読み方を変えれば「モト町」、町の中心であるが、寂しい感じになってしまった。最近では車も通らない。商店の活気がなくなったことを心配している。一方通行と駐車禁止がその原因でないかと考える。一方通行と駐車禁止の解除を町としても取り組んで頂きたい。

先日、社会福祉協議会で城ヶ平へのウォーキングに参加した。10年ぶりに上がったが、見晴らしがとてもよかった。アクトタワーや第2東名の工事現場なども見える。各観光地には説明板がある。手作りの地図のようなものや案内板のようなものを整備してはどうか。お金がかかるのでいい提案ではないが、森町の観光という面でそういうものを整備してはどうかと思う。

議会だよりで、ここ数年来の森町の財政状況を見た。ますます厳しくなる。会社でいうと赤字企業なる段階にきていると感じている。今かかえている職員の人材能力をいかに活用して出るとかということが大事だと思う。支出を抑えるのも大事であるが、例えば企業を誘致するだとか、そういう収入を上げる部署に人をシフトしていく。企業局と連携して開拓を進めていく。企業でいう生産性を上げるため10人から5、4人でもできるような成果をあげる。このような努力が必要だと思う。簡単ではないが、出来ない決めつけしないで、もう一度仕事の取り組み方、組織のあり方について見直しを考えて頂きたい。

町がやってきたことの中で、自治会でできる仕事があると思う。今まで高いお金を払ってやっていたことを、町内会で出来ないか。「できる、できない」をざっくばらんに懇談できる場を設ける、あるいは材料だけ渡して、労力をだしてもらおう。そこまで踏み込まないと、町はやっていけないと思う。

遠州森町のバスの発着所、バスターミナルをもう少し明るい玄関口にならないかと思う。

小学校の周りの歩道について、場所によってスロープがきつい。保育園の先生が大きい乳母車を押して散歩しているが、苦勞しているのを見かける。学校の周りを歩きやすいように、今でいうユニバーサルデザインに整備して欲しい。

森の民俗資料館が蓮華寺の奥にある。外部から歩いて見に来る人が多い。出来れば町中に移動すれば、来る人も来やすいし、森の町の中をアピール出来る。以前に昔の図書館をどうしたらよいかという話もあった。そのようなものを利用すればよいのではないか。町中には駐車場がないが、歩いてくる人には利用しやすいと思う。検討をお願いしたい。

町の住民体育大会について、10年計画の中で、高齢者の健康促進ということで、高齢者対象のスポーツ大会を検討して頂けないか。輪投げ大会やグランドゴルフ大会、ゲートボール大会などは今も実施している。今の住民体育大会はマンネリ化していると思う。高齢者の健康を維持することによって、高齢者の医療費も抑えることができると思う。

太田川の堤防（森川橋北右岸）を直してもらったが、川原へ降りる階段がない。川原町の方をやるときは階段をつけて頂きたい。

一年中、堤防の草刈をやってくれている人がいる。そういうボランティアをやってくれている人を見て見ぬふりをするのではなく、善行的なことをしている人を何とかしなくてはいけない。団体だけでなく個人でもボランティアをやらしてもらえるようにしていかなくてはいけない。

こちらでは把握していなかったが、このような人の情報を教えて欲しい。そうすれば何らかの方法で称えることが出来ると思う。

災害が発生したときの食料と水はどのようになっているか。

各地区の拠点には、非常用の食料が配備してあり、水についても、非常用給水タンクや濾水器がある。

「アンケートを採りました。」、「委員会を立ち上げました。」、「何十ヶ所で会合を開きました。」と聞くが、慎重に練るのもいいが、出された意見や早急に取り組んで欲しいことがたくさんある。何も変わらないと、意見を言っても無駄という感じになる。時代の変化に対応できるようにピッチをあげて頂きたい。

前回、袋井浅羽と対等合併が白紙になってしまいましたが、いずれ森町はどこかと合併しないとは思いません。第8次総合計画策定に組み込んで欲しいと思います。

（以上）

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 園田地区（草ヶ谷・円田・谷中町内会） >

日 時 平成17年11月10日（木）午後7時～8時30分

場 所 園田防災センター 2階

参加者 約30人

計画策定には、総論賛成・各論反対という意見が出てくることが多い。実行できるような施策をお願いしたい。計画の中で、具体像が見えると良い。アンケート結果を見ると、若い人達の不満というか、満足していないという面が見える。協働まちづくり委員会や審議会には、若い人達がたくさん参加して、発言を多くできると良い。若い人達が多く意見を出せば、10年後、20年後、50年後に住みたいまちに対しての意見がたくさん出てくると思う。総合計画を成功させて、人がいっぱいいる町になると良い。先日、旅行で四日市市関宿へ行ってきた。特徴ある町で、人も多く、活気があった。森町もそのようになると良い。

難しい言葉が多い気がする。資料の3Pに第7次森町総合計画の構成、その後に、第8次総合計画の策定体制が載っているが、第7次総合計画の内容については実現できたのか。第8次総合計画で、だぶっているものがあるのではないかと。第7次総合計画のまちづくりの視点においても、できていないものがあるのではないかと。

今後のまちづくりにおいては、福祉・医療の面において、充実させて頂きたい。各地の病院経営については、ほとんどが赤字であるという新聞記事を見た。森町病院も赤字である。しかし、中には黒字の病院もあるようだ。個人の病院も増え、なかなか医師の確保も難しいが、開業医と公立病院の連携も必要ではないかと。今後、高齢化を迎え、医療費については、どんどん上がっていくと思うが、福祉・医療は頑張ってもらいたい。

草ヶ谷地区には、公共施設がたくさん出来てきており、有り難い面もあるが、一方で自然がなくなるという不安もある。施策にあたっては、そういう面にも配慮していただきたい。

重要度と満足度のアンケート結果を見ても、雇用対策の必要性が見てとれる。雇用対策はすぐにはできないものではないと思うが、工業の振興と関連づけて、第二東名もできるので、北戸綿の工業団地を中心に、工業の誘致があってもよいのではないかと。自然環境を大切にしながら、工業の振興を長期にわたり、計画的に実施してもらいたい。

常に思っていることであるが、まちづくりには、お金がかかる。となると、お金を集めるようなことを考えなくてはいけない。農業にしても、商業にしても、今の森町では、右肩上がりになっていくとは思わない。観光資源に力を入れてはどうか。近隣の観光地とタイアップしてみるのはいかがでしょうか。例えば、アクティ森に行って、そのあと春野町へ、それから川根町へ行くなど。アクティ森のような施設はどこにでもあるので、森町の特色づくりをしなくてはならない。森町は、森の石松が全国的にも有名であると思うので、観光資源として、森の石松の利用、例えば、アクティ森などに森の石松の銅像を造って、みんなが写真を撮るとか。とにかく人を呼んで、観光収入を上げることが大事。観光としての産業に力を入れていく。みんながびっくりするような銅像を造るといった、特徴的なものをつくっていくことが大事。

アンケート結果から見てとれるように、15歳から19歳の若い人達の町に対しての愛着など、若い人達が本当にどう思っているのか確認して頂きたい。観光の面では、太田川ダムができて、そんなに客が増えるとは思えない。もう少し、観光について考えなくてはならない。また、若い人達の働く所がない。豊田合成くらいの大きな工場を誘致しなくてはならない。工場が誘致できれば、働く所も増えるし、町の税収もアップする。総合計画と同様に企業誘致にも力を入れて頂きたい。

（以上）

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿） < 園田地区地区（中川上・中川下・牛飼町内会） >

日 時 平成17年11月17日（木）午後7時～8時45分
場 所 園田防災センター
参加者 50～60人

御前崎病院も内科医がいらないということ苦慮していると聞く。患者も少ないということもあるが、全国でも8割の病院が赤字であり、森町病院も例外なく赤字である。テレビで、赤字の私立病院が、開業医と連携して黒字に転換したというのを見た。開業医と連携をして赤字を解消してはどうか。森町でも、医師、看護師が不足している。浜松医大、聖隷病院、近隣の公立病院、開業医との連携も必要ではないか。病院経営については広域的な連携が必要だと思う。

観光の振興については、財政は厳しいと思うが、町長も所信表明で、「住んでよし、訪れてよしの森町」ということを掲げている。森町も「遠州の小京都」ということで、観光についてもいろいろやってきた。観光客を誘致するには、交通手段の整備、道路の整備が必要だと思う。アクティ森、小國神社、太田川ダム、各種イベントを観光資源として有効に活用すべきだと思う。また、森町の玄関となる第2東名関連の都市計画道路を整備することによって、お客さんを呼ぶことが出来ると思う。

本日の懇談会については、行政はこういう方針でやるということを知りたかった。前の説明もみんなを集めて聞くほどのものではない。3年間かけて計画を策定するということが、3年間何もしないのか。国も小さな政府ということを推進している。森町は単独でやっていく。それにはどうしていかかが町民の耳には入ってこない。町民の意見を聞くことも大事なのだが、森町はこういうふうに進んでいく、こういう方針だということを知ることが大事だと思う。行政には期待している。

少子化が問題となっている。孫が園田幼稚園に通っているが、昔に比べて子供の数が少ない。牛飼でも同級生が3,4人くらいしかいない。子育て等経済的に苦しいので、子供の数が少ないのではないか。高齢化対策も大切であるが、これからの子供を安心して育てられるような環境作りをお願いしたい。

役場の窓口について、どこに行ってもいいかわからない。よその役所にもインフォメーションがある。そういうことを検討したほうがよい。介護の高額医療の助成の書類等、80歳の高齢の人には書けない。病院と連携してやればそのような書類も書く必要がないと思う。簡素化をお願いしたい。

先ほど小さな公共団体という話や行財政改革委員会を別組織でやっているという話を聞いた。森町総合計画と行財政改革委員会の位置関係はどのようになっているのか。大きな計画を達成するために委員会があるのはわかる。森町総合計画が今後10年間の計画を決めていくのであれば、行財政改革分野も計画の中に入れていくのが重要だと思う。

行財政改革推進委員会の会長も総合計画審議会の委員として参加することになっているので、行財政改革の部分についても計画に反映されていく。

森町の発展を願って、いろいろな計画を立てていただいているが、計画については出来るだけ期間を切って進めて頂きたい。第7次が10年間進められてきた中で、その総括的なものを踏

まえて第8次総合計画を策定していくことが大事である。森町の財政状況について、単独でいった場合、収入と支出はどういう状況にあるのか。

第7次総合計画については、現在検証中であり、財政の状況については、今月の議会だより等にも出ているのでそれを参考にして頂きたい。

三位一体の改革等、日本も改革を急いでおり、政府も真剣に立て直さなくてはならないと考えている。森町としても真剣にどうしていくかを問うことが大事であり、早急に取り組んでいかないといけないと思う。財政は大丈夫なのか、そういう不安をみんな思っているのではないのか。具体策をしっかりと練ること、10年間このままでやれるのかどうか。三位一体の改革、地方分権の問題についてもこれからいろいろ出てくると思うが、大胆にお願いしたい。そうすれば住民はついてくると思う。

西部地域で合併をしていないのは、湖西と新居と森町だけである。これからどうしていくか。森町もだんだん厳しくなる。より効率的な予算を立てて頂きたい。

なるべく早く第2東名を完成させて、森町が発展するようにお願いしたい。

森町も財政が苦しいと思う。その財政を潤すため、工場誘致をしてはどうか。高齢者の方が、町内で買い物や通院をするように町からチラシなど呼びかけをしてはどうか。

先日、町制合併50周年記念式典に参加した。来賓の挨拶で、柳沢議員、坂本前副知事、県知事の代読を聞いてぞんぐりした。「森町はなんで合併しなかったのか、やっていけるものならやってみよう」というような内容であった。1本の矢では折れてしまうが、3本では折れないという話がある。ある程度大きな組織にならなくては、大きな仕事は出来ない。そこから外れた森町は今後どうやっていくのか、森町なんか相手にされないのではないのか。町長や町職員、議員はどう考えているのか。町政の進むべき道を町民に対して明確に示して頂きたい。森町のことを心配している。

森町に住んでみて行事が多すぎるし、役も多すぎると思う。牛飼でも、役員だけで50人くらいいるのではないのか。新しいものを作っても、古いものがそのままという感じ。新しいものを作るときは古いものを捨てる。時代の流れで変えていく。役に立つものを入れていく。住民大会についても出ているのは老人クラブと役員だけである。やり方を変えてやっていかななくてはいいけない。従来通りでは駄目だと思う。住民大会をやめるところは多くある。無理にやるのではなく、好きな人がやればよい。町から補助金をもらっているため、無理矢理やっている行事や会議が多い。みんなが出たい、やりたいということをやする。組織の簡素化が大事だと思う。

例えば、3年間で計画を立てるのであれば、3年間同じ委員でやらなくてはいいけないと思う。1年で役員が替わってしまうとゼロに戻ってしまう。町内会についても、役員は今までと同じようにやって無事に過ごしたいという傾向にある。だから、変わっていかない。本当はやめた方がいいけど、なにか色々と言われるから、やめられない。9人が賛成しても1人が反対するとやめられない。これでは駄目である。多数の人が賛成すること、いいことはどんどん変えていかななくてはいいけないと思う。

総合計画審議会の委員については、2年間同じメンバーでやっていく予定である。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 飯田地区（市場・下飯田・中飯田・上飯田・東組・西組・城北・若宮 町内会） >

日 時 平成17年11月21日（月）午後7時～8時45分
場 所 町民生活センター 集会室
参加者 約40人～50人

市場財産区の枝打ちについて、枝がひどくなってしまっており、このままではちゃんとした木にはならない。今後、どうしていくのか、方針が決まっていない。情報の公開が遠くなってしまっている。

飯田財産区で対応していくこととなる。

河川敷の有効利用のため、整備をお願いしたい。きれいなまちづくりをお願いしたい。子供からお年寄りまで楽しんで使えるように太田川を整備してはどうか。

飯田地区では、太田川河川敷の草刈りを年1回やっている。それは町の仕事だと思う。戸綿から飯田の河川敷は、草だらけなので、公園などにして頂きたい。そうすれば地震が来たときにも、河川敷に仮設住宅なども建てられる。

太田川を下って見ると、市場あたりまで河川の中に島が出来ている。その島には草がぼうぼうに生えている。「自然が良い」というイメージとはだいぶ違う気もする。県に要望して河川をもっと良くして頂きたい。9月の敬老会について、ずっとやっているがマンネリ化していると思う。内容を充分検討して頂きたい。例えば、芸能人を呼ばないで、地元の人々の琴や踊り、カラオケまた学校関係などを有効利用してはどうか。そのほうが親近感もわくと思う。また、地区別に分けて開催してみてもどうか。

敬老会のやり方等については、保健福祉課で検討中である。

アンケートの結果で、今後望むものに「町職員の能力の向上」があげられているが、どのようにしていくのか。職員は説明不足の面があると思う。契約もなく個人の土地を利用しているところがある。例えば、水道課。自分の家では利用していない水道管が漏水しているので、町へ連絡した。すると、「個人の土地の中の場合は個人で直してください」と言われた。「水道管を切って止めてしまえば良いが、配管されている家の水は止まってしまうがよいか」と言ったら、もう一度考えるとの回答であった。結果、水道課で直すことになったが、もう少し考えて頂きたい。契約書もなければ、水道管の配管図もない。引き継ぎが出来ていないのではないかと。今回が初めてではない。5、6年に1回ある。町民に対する説明等を真剣に考えて頂きたい。

役場の職員は、異動があり、自分の課をつらぬくプロ意識がないと思う。異動があるので、引き継ぎ等であやふやになってしまう。行政の中で専任してはいけないという決まりがあるのか。

引き継ぎ等もしっかり文書化してやるように見直しをしているので、今後、少なくなると思う。

市場には、東浦と西浦がある。東浦は道が狭く火災が起きた場合、消防車も入れない。消防車が入れるように拡幅して欲しい。

アンケート結果から、森町をこうしていこうという具体的なものが出来てきているのかどうか。地元を離れて、12年ほど清水にいた。その時、「森の小京都っていうけど森町には何があるのか。」と聞かれた。実際のところ、何も無い。小京都と言えるものではない。森町の全体を今後どうしていきたいのかという話はないのか。

皆さんから意見を聞いて、協働まちづくり委員会や総合計画審議会などで町の将来像を決める作業をしている最中である。小京都という観点については、他の地域などでも様々な意見が出ている。

重要度と満足度のグラフでも、地震対策は森町全体、飯田地区でも重要だと出ている。現在、東海沖地震が危惧されているが、大きな災害が発生した場合、消防団だけでは対応しきれない。自主防などにも協力して頂きたい。消防団では、年明けから来年度にかけて全地域で自主防と連携をして図上訓練を計画している。かわきりに、1月になると思うが、飯田地区を考えている。災害が起きたときには、地域住民に協力願いたい。森町としても、自主防のあり方、組織の充実をお願いしたい。

平成17年度までやってきた計画の達成度について分からない。森町病院について、北病棟を空けるとい話を聞いた。医師、看護師も減っている。困ったとき行けるような病院へ今後も維持、継続して頂きたい。太田川について、飯田橋近くの河床が、1mくらい下がっている。以前は、砂利で埋まっていた昔の橋の後が30cmくらい出ている。町民憲章にあるような太田川にして頂きたい。

第7次の計画の進捗については、現在検証中である。着手率については、概ね80%強である。

飯田地区の太田川の堤防の中には、私有地がある。袋井でも、2、3年前にあったが、今はない。特に多いのが中飯田地区である。土地の所有者全員の承諾を得ていない。アンケート結果にも、余暇を楽しむところがないというのが出ている。堤防の中の私有地をなくしていくとともに、整備をして利用していくのはどうか。

大きな企業や名のある企業を誘致しなければいけないと思う。町財政は収入がなく、支出については削るのにも限度がある。収入についての対策を早くやらなければ間に合わないのではないか。

地震対策について、重要度が高く、満足度が低くなっている。飯田防災センターをどれくらい活用しているか。前年、飯田地区の町内会連絡会長をやっているときに、各町内会長にこの施設の防災面について聞いたら、ほとんど知らなかったのが、12月の訓練の時に勉強した。どこに何があるのかが分からない。訓練をして、どこに何があるのかを勉強したほうがよい。町のほうで音頭をとっていただいて、飯田防災センターとして活用して頂きたい。12月の自主防災の訓練も町のほうで音頭をとってやって頂きたい。

県のほうで、森林・林業の整備のための税金をかけるようなことを聞いた。森町もだいぶ林業が荒廃している。ほとんどが、植林で杉、檜である。森町の林業をどう取り組んでいくのか。森林の面積も多く、検討を願いたい。山間僻地の問題もある。秋になれば紅葉も見られる様な対策をお願いしたい。

アンケート結果のP10,11「住み心地」について、80%以上の方がよいと答えている。第7次の三木の里の取り組み、自然との共生などのまちづくりがうまくいっているあらわれだと思う。当然、よいものは継続して、新しい計画を立てなくてはいけない。重要度が低いから、満足度が高いからといって、切り捨てないで欲しい。そういう中にも重要な施策がある。例えば農業振興については、用地や用水は整備されてきている。レタスは森町の重要な産物であり、これを活かして頂きたい。残念なことに、用水に生活排水が流れているところがある。油や洗剤が多く、掃除をしているが、年々よごれている。特に中飯田、上飯田の小川が汚い。下水、用水の取り組みをお願いしたい。施策の1つひとつをよく検討してやって頂きたい。10年後も住みよい町にして頂きたい。

アンケートの回収率について、45%であるが、飯田地区160~170人の回答だけで分析してもいいのか。無回答の人に督促を出してはどうか。45%の回収率では少なすぎるのではないか。45%というのは、町に対する意識が低いということか。

アンケートの回収率については、平均的な結果であり、特に意識が低いというわけではない。また、人口2万人に対して、2千人の調査もかなり十分な数である。分析にはなんら問題のない数字である。

厳しい財政の中、足腰の強い町にするためには、企業を誘致するのがよいと思う。取捨選択の時代、第7次の基本計画にいろいろなことが書かれている。絞っていくのがよいのではないか。地震対策について、飯田地区は避難地が飯田小と防災センターがあるが、どこに避難するのか。どこに行けばよいのか分からない。きめこまかなところの施策が必要ではないか。お金のかからないソフト事業を充実させていくことが大事だと思う。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 飯田地区（梶ヶ谷 鴨谷 福田地 戸綿 北戸綿 南戸綿 むつみ台 町内会） >

日 時 平成17年11月22日（火）午後7時～8時45分
場 所 飯田防災センター
参加者 約30人～40人

睦実地区の人は、勤勉でまじめであり、地域に対して一生懸命である。町政について言えば、収入がなければ希望にはそえない。税収のアップ、コストの削減を具体的にどうしていくか。住民の希望の中で、特別なプロジェクトを行っていくためには、どのように予算を配分していくのか。大企業を誘致するのもひとつの手である。また、住民の毎日の生活が困らない様にしていくこと、また、ゴミ問題や病院の問題も大事。給食もセンター方式で人件費の削減してはどうか。見栄ではなく、実情を訴えていく。収入をあげ、支出のポイントをどこにもっていくか。また、道路行政が少し遅れているように感じる。

アンケートの結果だが、50歳代の前後で、回収率が違う気がする。若い人たちの回収率を上げなくてはならないと思う。若い人の意見を大切にしなければいけない。高齢者は森町に住むしかないのだから。

まちづくりの意見については、小・中学生からも意見を聞くなどしており、若い人の意見も反映させていきたいと思う。

睦実地区は、県道が多い。農道も多いが、全体的に暗い。特に高校生が自転車で通るところが暗いので、外灯を付けて欲しい。

太田川親水公園の反対側は草が生えており、利用度がない。もう少し整備して、ゲートボールやグランドゴルフ、子どもの遊び場として利用できないか。

右岸（親水公園）は整備がしてある。左岸側も整備してもらおう約束だったが、予算の関係で整備されず、今は草も多く生え、マムシもでる。花火大会の前には地元で草を刈っているが、全体的には、町でシルバー等に頼んで草を刈ってもらっている。グランドゴルフが出来るようにもしくは、芝生、花壇等を整備をしてもらえないか。管理は自分たちでやる。最近、グランドゴルフも出来ない。整備してもらえればできる。公園として整備してもらえれば良いが、花壇、芝張りだけでもしてもらえれば、地元で管理していけると思う。少しでも整備してもらえれば良いと思う。

子ども達を育てて、森町に残ってもらうように、教育と福祉について重点をおくのがよいと思う。高齢者が高齢者を面倒見る時代になっており、そうならないようにしていきたい。そういうことについて、計画の中で重点を置いていくのが良いと思う。

医療について、森町病院に家内がお世話になっている。血液検査をしていないのに、請求が2回もきた。信頼できる病院にして頂きたい。利用者は不安になる。インフルエンザも他より料金が高いと聞く。予防という意味では、安くして多くの人に提供するのが良いと思う。不安を取り除いて欲しいと思う。

母が、6年前から病院にかかっているが、病院では3ヶ月くらいしかおいてくれない。入ったらすぐに他の病院を探すしかない。森町には愛光園しかないので、他へ行かなくてはいけない。森町の中に老人施設を作って欲しい。森町から出たくないということを踏まえて考えて欲しい。また、部屋代、食事代が高い。高齢者を見てもらう施設が多く欲しい。

草ヶ谷に病院と老人施設の中間の施設がある。そこに相談してみてもどうか。

梶ヶ谷団地は、周りを木々で囲まれている。豊田合成で働いている人がほとんどである。木々が成長して高くなり、テレビの映りが悪くなった。地主と交渉して、木を切るとか、整地するとかの対処が出来ないだろうか。

太田川にゴミや鉄くずが落ちている。上流の方から流れてくるのだと思う。飯田地区だけでゴミ拾いをやるのではなく、大々的にゴミ拾いをやったらどうか。

少ない予算で、よりよいサービスをお願いしたい。行財政改革も大変であるが、税金を上げなくてはいけない。企業を誘致して、税金を上げていくことを考えていくのがよいのでは。北戸綿の工業団地についてはまだ空いている。誘致をして頂きたい。若い人が外に出ており、企業があれば働き口も増えると思う。

森町に外国人が増えてきており、全ての人というわけではないだろうが、マナーが悪い。ゴミの捨て方が特に悪い。実際、旧掛天線のところに捨てているのを見ている。派遣会社等に言ってもう少しマナーの向上をして欲しい。

飯田地区の正副町内会長で草刈をやった。町の方で大型の草刈機を貸したりしていただければ作業も楽になり、広範囲がきれいになると思う。作業はこちらでやるので、人件費もなしでできると思う。

平成11年に飯田防災センターができた。太田町長の時であったが、飯田財産区からお金を出して、土地を購入した。土地の半分を防災センターに、もう半分を高齢者をみる施設にするという話だったが、介護保険制度がはじまって、そのままになっている。第8次の計画では、民間でやってもらうようなことを視野に、計画を考えて頂きたい。最近、交通事故が多く、町道太田川自歩道線の整備をお願いしたい。堤防道路を整備して、防災センターまで来られるようにして頂きたい。国際交流については、現在、森町は子どもや女性まで北海道森町と交流をしている。静岡空港も出来る。国際化の中で、海外のどこかの国と交流することも考えていくことが大事ではないか。

ゴミについて、リサイクルが進んでいるが、どう処理されているのか、ゴミの行方が分からない。各自のゴミがどこへ行くのかがわかれば、分別もはっきりしてくるのではないか。以前、陶器とプラスチックが一緒に入っていて、収集してもらえないことがあった。どのようにリサイクルされているかがわかれば、分別しやすくなると思う。パンフレットをよりわかりやすくすれば、もっと分別しやすくなると思う。

町営グラウンドについて、以前から入口の所に、水が流れている。直してはくれない。グラウンドは、草も生えている。グラウンドは毎日のように使われているが、広いだけであって10年、20年使われていても、ここが良くなったということがない。太田川の親水公園は、整備が行き届いている。町営グラウンドは、もう少し、手を入れたほうがよいのではないか。

町内の回覧について、社会福祉何とかと書いた厚い本がまわってくる。やめてしまって町に不便はないか。

町ではそういうものを取り扱っていないはず。回覧については、不審なことがあったら役場総務課に問い合わせをお願いしたい。

道路の亀裂について、横断するように割れている。水が亀裂から下に浸透してしまっている。修理する方法はないのか。予算の関係でなかなかやってくれない。調整池のところも陥没している。簡単に修理できるのであれば、地元でも直したいと思うが。要望は、町に出してあり、地元では死活問題である。入口の道もそこ1本しかない。

現場を確認して、対応を考えていきたい。

(以上)

地域ごとの懇談会の意見の概要（未定稿）

< 一 宮 地 区 >

日 時 平成17年12月8日（木）午後7時～8時45分
場 所 一宮総合センター
参加者 約40～50人

最終処分場の工事が進んでいる。それに関連して、元田んぼの埋め立て地を公園にしてはどうかという話がある。最終処分場の使用期間は約10年くらい。その期間は、公園の管理については広域行政組合です。しかし、その後は地元で公園の管理をして欲しいという話を聞いた。今の時代、そういうことに従事することが難しい。10年後も、町のほうで公園の維持管理をお願いしたい。

森町病院について、旧の病院の頃から、15年間毎月1回通院していた。しかし、MRIがなくて袋井病院や磐田病院へも行っていた。今回、MRIが森町病院に配備されて大変喜んでいて。しかし、今月の町長の同報無線を聞いて、森町病院の病床が140から105に減るということを聞いた。35床減ることによって運営が苦しい中、さらに収入が減るのではないかと。医者、看護師が足りないということもあると思うが、せっかく配備したMRIがフルに活用できないということになると、残念である。素人の考えではあるが、民間への委託も選択肢の1つではないかと思う。厳しい財政の中、多少でも町民が潤うのではないかと思う。

まちづくりを考えようとすると、それには情報が足りないと思う。本来であれば、広報誌や議会だよりを良く読めば分かるのかもしれないが、なかなかそういうところまでいかない。森町が今の現状のままていくと、今後、町はどうなるのか。県や町でシミュレーションしているというのを聞いた。、財政の問題、少子高齢化の問題によって、状況によって、いろいろ変わってくると思うが、端的に言って、町がつぶれては困る。その状況を説明して頂いて、そのギャップをどのように埋めていくかを考えていくことができると思う。

第7次の計画は、いい形で出来ているがわかりにくい感じがする。町民にわかりやすい形や言葉のほうがいいのではないかと。例えば、県でトップのリサイクル率にするだとか、バイオマスシステムを使ってやっていくだとか。また、祭りなどでも子どもが少ない。子どもが少ないのは致命的である。地域が停滞ムードになる。そういった中、子どもをたくさん産める町にするとか、わかりやすいスローガンなどをたてて、わかりやすい計画を策定してはどうか。

民間の会社でいうと、町は数年で倒産するような感じがする。以前もまちづくり会議に参加していたことがある。しかし、そこで出された意見は、実際には行われていないのではないかと。今の協働まちづくり委員会で議論されたことは、実際に行われるようにして欲しい。まちづくり会議の時に役場の若い職員がいい意見を出していた。町の中にいる職員の意見を活用して頂きたい。また、退職者の何割かを採用するというので、職員を500人から400人に減らした例を聞いたことがある。そんなことを参考にまちづくりをお願いしたい。

公園のように管理経費もかかる消費的な投資から、森の市のような町民が商売しやすい場を提供できるような設備への投資に転換するなどして、より生産的なものへの投資をしていった方がよいのではないかと。そういった場所での使用料等を町に入れることにより、他の町民との公平性も保たれるし、町が借入しても、新たな企画をして、あがった収益で借入については返済でき、税金の使用が0円でも事業展開できると思う。

また、財政を豊かにするためには、森町にお金を落とす町外者が多くなることである。そのために、森町の観光化や森町の特産品のブランド化をもっと推進すればよいと思う。森町の町民が町外の袋井、磐田などで買い物をしているが、そういった人が町内で買い物できるように、魅力ある商品と品数のある商店街が必要となる。町内の商店を集めて、森の市を大きくしたようなショッピングモールを企画し、大規模商店のように商品の仕入れを町が一括購入したり、森町オリジナルのOEM化などもよいと思う。

第7次総合計画の時のように、絵に描いた餅にならないように、しっかりと計画を推進できるような検討会を設けて、やっていくことが大事である。

アンケートで「町職員の能力の向上」ということが言われているが、能力がないのではなく、出していないのだと思う。嫌々やることや与えられてやること、自分からやる気をもってやることでは違う。管理職の人は、そういったことを教育していかなくてはいけないし、職員は努力をしなくてはいけない。

少子高齢化が国全体の問題になっている。具体的にどうすればよいか。根本的には結婚しない人が増えたことが原因だと思う。昔は、独身者に、「この子はどうか？」とかいって紹介していた。今はそういうことが少なくなり、どこの町内でも独身者が多い。結婚している人の出生率は2.何%もある。結婚していない人が多いのが問題。結婚するような機会を勧めるようなシステムを作ってはどうか。

森町は、老人医療費が高い。茨城県の海岸ばたの町で高齢者が体操をして健康づくりをしており、医療費を抑えているという話を聞いたことがある。参考にしてはどうか。

財政の問題を見れば、国と比べれば少ない債務かもしれない。県西部では新居町と森町だけが町で単独である。新居町も湖西市と合併という話もある。そうなると、森町だけ単独で小さな町になり、マイナス要因が出てくる。福祉や生活水準等の地域格差も心配になってくる。どのように考えていくのか。

工業誘致についても、工業団地を活用してもらいたい。

テレビで単独で頑張っている福島県矢祭町のことをやっていた。参考にしてみねできることがあれば、まねした方がよいのではないかと。視察などにいくのもよいのではないかと。

合併して必ずしもいいのか。佐久間町や水窪町の話の聞くと、合併しても大変だ。しかし、単独の森町の人はもっと大変なはずなのに考えが甘いと言っていた。町も住民も、もっと肝を据えなくてはいけない。

次郎柿が森の特産物であるが、安く売られている。春野の農協などとタイアップしてやっていいかどうか。全国で売るような努力をしてはどうか。町の特産物であるのだから、町でももっとPRして欲しい。若い職員をどんどん使ってまちづくりをして欲しい。

中遠地区での会合に参加して、森町は高齢者福祉の予算が全体の約26%、県が約19%、袋井が約18%というのを聞いた。森町は、高齢者福祉の予算だけで破綻してしまうのではないかと感じた。旧浅羽町に、「和の湯」があり、温泉税が2,000万円入ってくるというのを聞いたことがある。森の湯にはどれくらいの収益があるのか。天竜市でも温泉を掘った。森町ではそのような考えはないのか。温泉施設のようなものがあれば、1つの施設で、高齢者の健康や町収入のアップなど3つくらいの得があるのではないか。

地元の高校の評判が余り良くない。就職にも影響し、ニートやフリーターといった問題が実際問題として森町でも出てくるのではないか。町長も、学校とよく話をして地元の高校に人気があれば良いと思う。

森高と周智高が平成21年に合併する。跡地の利用について、どうしていくのか。広報などでも知らせて欲しい。

県道40号線（掛川天竜線）は交通量も多くなってきている。幸い大きな事故は起こっていないが、交通問題について、少し考えて頂きたい。

全体で130万人が観光客として森町に来る。しかし、観光客が森町にお金を落とす施設がない。素通りしてしまう。町内にお金を落とすような施設を考えてはどうか。

温泉調査について、一宮が有望という話を聞いたことがある。一宮財産区でも協力しても良いという話もあった。小國神社の宮司も前向きな判断をしてくれると思う。プロジェクトチームをつかって、温泉を掘れば、一宮地区、森町全体が潤うのではないかと思う。それに合わせて、小國神社の周辺に宿泊施設をつくったりすればおもしろいのではないかと思う。

25%の高齢化率は高いかもしれないが、元気なお年寄りが増えることは、逆によいことだと思うので、介護予防に是非力を入れて欲しい。障害児の放課後児童クラブをやっていただいているが、場所が決まっておらず、そのときどきで場所が変わるので、車いすで来る子もいることなども考えると、是非、決まった場所でやれるようにしてほしい。

この建物（一宮総合センター）にくるたびに、階段のところの亀裂みたいなものなどがあり、耐震上問題がないか気になっている。調査して危険があれば、改築してほしい。

元気な老人という話が出たが、高齢者、先人達の生産的な施設を考えたらどうか。旧足助町では、高齢者がソーセージやパンなどを作って売っており、お客の数も多く、収入を上げていると聞く。温泉の話が出たが、分からない訳ではないが、調査で5,000万、掘るだけで5,000万かかるということなどもあり、難しいと思う。

こういった会の運び方について、もう少し工夫や配慮をして欲しい。町民は情報がなく、どうしたらいいのか、何を言えばいいのか分からないといった感じである。たたき台のようなものがあれば、もう少し意見も言いやすくなるのではないか。また、事業をやるかどうかを考えることも大事であるが、こういった時代では、何をやめるのかということを決めることも非常

に大事である。選択と集中という言葉があるが、絵に書いた餅にならないように、財政を健全化し、筋肉質にした上で、投資するところには投資するといった姿勢が大事である。

高齢者が増えてくると、車も運転できなくなり、交通弱者も増えることになる。また、活動の範囲が限られると元気もなくなる。厳しい状況ではあるが、交通弱者の足の確保をやっていくべきである。小國神社にもたくさんの来訪者がいる。そういった人がアクティ森に回ろうと思っても、看板がないのでなかなか分かりづらい。看板などをつくるだけでもだいぶ違うのではないか。民間が何かやろうとして、農地等へ進出するとき、少し規制をゆるめるなどして、民間の活動を促進してはどうか。

国と町の行財政改革は全く違う。町はなんとかいろいろと頑張っているが、国は自分達の枠を壊そうとしていない。町と町民が一緒になってまちづくりをやっていくことが大事である。

交通弱者への対策をお願いしたい。一宮地区はバスがなく公共交通は天浜線だけである。その天浜線も通勤時間帯以外は1時間に1本である。森町病院には、旧豊岡村からきている人も多い。天浜線をレールバスのように、今の駅以外から乗り降りができるようにならないか。

バブル期は森の地価が周辺より安く、森町の土地を買う人も多かった。しかし、地価が周りと変わらなくなり、合併せず単独の道を選択したため、住民負担が増えるという間違った噂があるため、森町へ移住する人がほとんどいなくなった。合併のことをいまさら言っても仕方がないが、森町の良さをもっとPRしていくことが大事である。

私は、森町へ30,40年前に移住してきたが、森町には、観光資源、よい農産物も多く、魅力的なところである。森の祭りも印象的であった。観光資源等を有機的に結びつけて、上手に活用していくことが良いと思う。第2東名が出来てくれば、インターやPAなどとのアクセスを良くすることによって、森町への訪問客を増やしていくことができるのではないか。また、そういった取組をやる時は、やはり広域的に考えてやっていく方が魅力的なものとなると思うので、そういう意味でも合併は必要だったと思う。

こういう会合に出て、総合計画のような計画があるのを初めて知った。アンケートの結果にもあるように、まちづくりに何らかの形で参加したい町民は80%を超えている。基本計画の案が出来た際にも、こういった会合を設けて、町民の意見を聞きながら進めていってはどうか。

(以上)